

武蔵野市第四期長期計画調整計画

緑・環境市民生活分野市民会議

第6回

平成18年12月6日（水）

武蔵野市役所6階 601会議室

- 日 時 平成 18 年 12 月 6 日（水）午後 6 時 30 分～午後 9 時 30 分
- 場 所 武蔵野市役所 6 階 601 会議室
- 出席者 赤松委員、石川委員、今木委員、河田委員、久木野委員、栗原委員、上月委員、近藤委員、西園寺委員、島田委員、白石委員、瀬口委員、富川委員、長嶋委員、新垣委員、皆川委員、渡部委員、小竹先生（アドバイザー）、事務局

午後 6 時 29 分 開会

1. 開 会

○小竹アドバイザー 皆様、こんばんは。

きょうは塩入委員がお休みというご連絡がありましたのと、瀬口委員が遅刻されるということでした。あと、空席のところはまだいらしていないですよ。もう時間ですので、始めさせていただいてよろしゅうございますでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

本日、また会場を戻しまして、市役所に集まっていただきました。それでは、ただいまから第 6 回武蔵野市第四期長期計画・調整計画の緑・環境・市民生活部会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

2. 議 事

○小竹アドバイザー それでは、議事に入ります。

まずその前に、いつものように発言で匿名を希望される方はその旨おっしゃってください。それから、きょうは勉強会がないので、すぐに皆さんの議論が始まりますけれども、ご発言の機会が均等になるようにということで、よろしくお願いいたします。

それでは、事務局の方から、本日の配付物についてご説明をお願いいたします。

○渡辺幹事長 事務局からは 2 点お配りしております。

1 点目は、第 4 回の議事録でございます。ちょっと事前に郵送する時間がございませんでしたので、本日お配りさせていただきます。こちらにつきましては、次回 12 日の第 7 回の会議の際の冒頭で確認をさせていただきまして、ご承認をお願いしたいと考えておりますので、後ほどお目通しをお願いしたいと思っております。

2点目といたしまして、A3の横の表になります。こちらが「第四期長期計画 実施状況」、10月1日現在ですけれども、これは全分野の分でございます。議論の参考にしていただければと思います。

○小竹アドバイザー 皆さんのお手元に2つ資料がございますでしょうか。

A3の、これはかなり量が多いですね。今すぐ目を通して内容を把握するというのは難しいかと思っておりますけれども、資料としていただいておりますということで、よろしくお願いたします。

それでは、前回委員会の方から要望があった件につきましても、事務局からご報告いただきたいと思っております。お願いします。

○渡辺幹事長 それでは、事務局の方からお答えいたします。

2点ございました。

1点目、策定委員会の推薦人数を2名にふやしてほしいという件につきましては、市民会議の総括をしております企画調整課に照会いたしまして、回答をもらっております。企画調整課からの回答は、「実質的な議論をしていく上で、これ以上人数をふやすことはできませんし、特定分野だけふやすこともできません」という内容の回答をいただいております。

2点目、武蔵野プレイス、仮称ですけれども、専門家会議に市民会議の意見を事務局を通して伝えてほしいという件につきましては、同じく企画調整課より、全庁的にも各委員会同士の間には事務局同士が間に入って調整を図るものではないことから、今回の場合は傍聴者として意見を提供するシステムをご活用いただきたいと回答がございました。

2点についての回答でございます。

○小竹アドバイザー ありがとうございます。

ただいまのご回答について、何かご意見、ご質問がありましたら、まずお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

○栗原委員 簡単にいってしまえば、1人より2名、策定委員会に出られた方がいいのではないかと考えていますので、ここの部会だけでなく他の部会でもそのことを話し合ってもらって、できれば全部会からの要望ということで、もう一度市の方に伝えていってはどうかなと思っています。

もう一つのプレイスの件については、もちろん傍聴者が意見を述べられるというのはそのとおりなんです、プレイスの検討をしている専門家会議の方たちに、こういうことを

傍聴意見で書いてもいいんですけども、今、市民会議が動いていて、来年度にはその策定委員会ができて、長期計画の見直しが行われる。その見直しの中でプレイスのことも当然検討されねばならないことなので、今専門家会議の方で結論を出されても、それは長期計画の見直しの中で修正されたりしていくことは十分あり得ることなので、そのことを十分踏まえて議論していただきたいということはお伝えしていきたいと思います。

以上です。

○小竹アドバイザー ただいまのご意見あるいは事務局からの先ほどの説明について。

○西園寺委員 策定委員を2人にする件ですけども、今のご説明ではちょっと納得できないなという感じがします。今回は邑上さんが市長になってから市民会議というのを初めての試みでやったわけで、市民の意見を取り込むというのが、多分最大の目的なんじゃないかと思うんです。その目的を達成するために、1人ふやすことがそんなに問題なのかなという疑問はあります。

○小竹アドバイザー そのほか、ありますでしょうか。お2人、前回の会議のときも、最後に策定委員の人数についてはご提案がありましたし、そうでなくても今までどおり、市の方からいわれている1人でもいいのではないかというご意見もありました。ほかに何か違った視点のご意見がありますようでしたら、あるいは補強ご意見でも結構ですけども、ございますでしょうか。

○石川委員 今、2人云々は、1つの会だけで2人にすることはできないというご回答ですが、たまたま私はほかに入っているあれを聞きますと、やっぱり2人という意見が出ているようなんです。たまたまそれがまだ出そろっていないということもあるんじゃないかと思うので、単に1つの部会だけ、確かにここの部会だけが2人というわけにはいかないと思いますから、その辺はほかの部会でもどうなのかということももう一回チェックしていただきたいと思うんです。その上で、ほかはいいんだということであれば、ここだけ2人というのはちょっとあれだし、逆にほかも2人ぐらい出してほしいということであれば、それはもう一回検討してほしいなということです。

それから、プレイスの問題は、要するにここの計画の中に1つの案件として載っているわけですから、そうでしょう。載っていることについて、逆にいえば検討しちゃいけないのかということになりませんか。個人で発言してくれということは、少なくともここで当然案件に載っているんだから、検討して、検討した結果はこうだったよということはお出しもおかしくないと思うんです。それを出さないで個々にやれということ自身は、ちょっとお

かしいんじゃないかと思います。それを、専門家委員会とかのそれにすぐに反映しろというところまでいっちゃうのがいいかどうかというのは1つあるかもしれませんが。けれども、少なくともここで検討した結果がまとまって、こういうことだよというのがあるとなれば、それは1つのまとまった意見としてここから出してもおかしくないと思うんです。それはどうでしょう。

○白石委員 今の石川さんの意見は全くそうだと思うんです。ただ、この中で、意見をまとめて、要するにこの部会としての全体の意見の中にそれを織り込むということは、実際問題として間に合うのか合わないのかというのが気がかりなんです。それも含めて十分取り入れるということであれば全然問題ないと思うんですけれども、そうでなければ早目にちゃんとそれはそれとして出さないで間に合わないんじゃないかと思います。その辺はどうなんでしょうかということを知りたいと思います。

○小竹アドバイザー プレイスの件ですよ。

ちょっと事務局にお伺いしますが、私はアドバイザーとしてこの会の大きな目的は策定委員を選出して長期計画についての見直しということなので、そのことと時間的な問題がありますよね。プレイスの方は今はもうちょっと早目に進んでいるという感じがしますので、ですからこの委員会でまとまったものをといった段階では、どうなるかよくわかりませんが、ちょっとその辺はお聞きしないとイケないと思うんです。

1つは、傍聴者と言うというのは、少し弱いかなというのがある。それよりも一団体として言った方がいいというのが栗原さんのご意見だと思うんです。この委員会で何度もいろんなところで出ているんですけれども、どうしても縦割りの今までの行政が行われている以上、横のつながりはなかなかしにくいかなという印象を私は持っているんです。

実際に、今、きょうご返事いただいた、傍聴者として参加するのはどんなに自由にやってもいいわけですよ。それで、この委員会で何か取りまとめをしたとしても、時期的なずれがかなりありますよね。

○渡辺幹事長 前回、これの担当課長が参って皆さん方にご説明して質疑を受けたときの中にも、恐らくこれに関するご質問があつて、回答もしたと思います。今、コーディネーターの小竹先生もおっしゃいましたけれども、プレイスは確かに結構早目に進んでいます。ですから、恐らく3月中にある程度の結論。12月中に方向性が出て、年が明ければある程度固まってくるのではないかと、ぐらゐのスピードで進んでいるようです。そうしますと、正式な形で皆様方のご提言書をいただくのは4月ですので、時期的には白石さんのおっし

やるとおり、間に合わないんじゃないかと個人的には思っています。ですから、現実的に、もし皆様方のご意見を反映させるのでしたら、本当に今のところのシステムとしては、直接その場でご意見を申し述べるという形の方が一番伝わるのかなと思っています。

いわゆる長計についての事項でプレイスが入ってしまっていて、皆様方はこの分野で、プレイスはいろんな分野にかかわってきますけれども、こちらの方の提言をお願いしているんですけれども、また専門家会議が立ち上がってしまっていて、これはこちらで別で動いているんです。ですから、この整合性がどうかといわれると、私は何とも答えられないんですけれども、現実的にはその危惧はあると思います。

○小竹アドバイザー 恐らく、その市民会議のほかの財政とかの分野でも話題になっている可能性もあるわけですね。ですから、縦割りシステムでいっている中でどれほど効果が上がるかというのがわからないとしかいえないんですが、委員としてどうされるかは議論してくださって構わないと思いますけれども。現状、ちょっと厳しいのではないかとこのがあります。

もし何か、団体で傍聴に行くとか、1人で行くわけではなく、この委員会から数名行くとかいう形でアピールするとかという手はあるかもしれませんが、やはりあくまでも委員会という形にするのであれば、策定委員を出して長期計画をまとめるというのは、寄り道というところとちょっと違いますね。ループが1つ出てしまうというか、そんな印象はなきにしもあらずです。

ただ、大事な問題ではあるので、そのこと、しかもこのメンバーに選ばれている方々はコミュニティなりそういう施設をつくることに対して関心の高い方々ですので、何らかのアクションを起こす価値はがあると、私は個人的には思っているんですが、現状としてはそういうふうに見えるのかなと思います。

○皆川委員 まず、プレイスの問題については、この意見というのは僕は大事な意見だなと思います。だから、それを専門家会議で我々が傍聴で云々というのではなくて、そのために市役所があるんですから、どうかここでこういう論議がなされたということを、専門家会議に、事務局の方からアピールしていく。それをとる、とらないは専門委員の皆さんにお任せするというところで進めていただいたらどうかなと思います。何も我々が傍聴に行かなくたって、せっかくこういうことでやっているんですから、それをぜひ反映してもらいたい。

このプレイス問題は、実は私もちょっと地域活動をやっていますので、若干聞きかじっ

ております。地元の境南町の方々の意見と、先般来、我々のこの中で出ていますような意見と、全く違うんです。もっとコンパクトにして、これから財政も厳しくなるから、何とかそれをというのがこの会議の意見だと思うんです。これは、市民の皆さんの中からも出ていると思います。

また一方、地元の境南の方では、市長がかわって云々という話をするにはちょっとお粗末かなと思いますが、前市長のとき、とにかく立派なものをということにしている。それは、何があってもということにやっておる。しかしこれは、邑上市長としてもいろいろ複雑な気持ちじゃないか。そこで、専門家会議を開いたわけですから、これを有効に活用していくために、そこで論議していく素材を我々が出していく。ですから、市民会議でこういう分野の中でこういうものがあつたということ専門家会議の中で事務局の方から出していただいて、何ら支障はないと思います。何も傍聴に行かなくても。ということで、お願いしたいと思います。

それから、第1点の、2名、1名の問題。これは、私は、行政にお任せするということがいいんじゃないかと思えます。というのは、この分野だけ2名というのもどうかと思えますし、結論からいいますと、1名でいくということであれば1名でいいんじゃないか。ということは、もしここで2名になると、ほかの分野も2名になると思えます。そうすると、策定委員会は学識経験者5名、市役所2名、我々市民会議が5名。それが10名になると、これはやっぱり、20名まではいかないにしてもかなり大人数だと思います。我々のここから出す代表を、真に我々の論議したものを策定会議で十分反映していただけるような方を推薦していくということにできれば、これは私は1名なら1名と、行政の企画調整ですか、それに従ってよろしいんじゃないかと思えます。

以上です。

○小竹アドバイザー それでは、最初の方のプレイスの件ですけれども、プレイスに関する事で何かありますか。

○新垣委員 簡単に申し上げます。

全体会議の早い方の会で、新公共施設について切り離して皆さんのご意見を出していただいたのを箇条書きにまとめて、そのまとめたものを専門家会議に市民会議の議論の中身ですということでお渡しいただく。そういうことで、個人が行ってそこで発言するとか、そういう形できちっとルールを踏んでいただいた方が結構じゃないかと考えます。

○小竹アドバイザー そうしましたら、新垣さんのご意見は、この委員会でプレイスに関

しての意見書とかまとめたものをつくって、それを事務局を通してということですか。

○新垣委員 事務局を通すんでしょうね。

○小竹アドバイザー わかりました。では、今、新垣委員と皆川委員から同じトーンのご提案がありましたので、この委員会でそういうものをまとめて、それを、先方がどのようになさるかはちょっとわかりませんが、お出しいただくということをお願いしてよろしくうございますでしょうか。

○渡辺幹事長 会議の皆様の方のそういった意見書というか、タイトルはちょっとあれですけれども、その文書は、私の方でお預かりして、事務局にお渡しすることはいたします。あとは向こうの専門家会議、もしくは事務局がどういう取り扱いをするかは、そこまではお約束はできません。

○小竹アドバイザー そうしますと、きょう、いろいろなこれからの取り決め、どういふふうに進めるかとかやり方を決めていきますので、その中でプレイスの件を早目に意見書を出せるような日程立てをすることにいたしましょうか。

あともう一つ、策定委員の人数ですが、まだお2人がいいという方と1人でいいのではないかというのが別れているようですし、他部会の様子も、2名にしたいという意見が出たというけれども、そうではなくて1人がいいという話が、部会ごとに違っているようなので、まだ策定委員を選出するのは先でよろしいのですが、ここで決めなくてもいいかなという気はしますが、議論が煮詰まってきた段階で、どうしても2人の人数が要るのか、あるいは先ほどありましたように、代表を1人、うまくいっていただける方を選出するかということで、そこもちょっと議論になると思います。

しかし、それはちょっと先延ばしでもよろしいかなと思いますので、よろしいでしょうか。いずれにしても2人になるかもしれないし、今、市からいわれているように1人のままかもしれないということですね。では、これはペンディングということをお願いしたいと思います。

それでは、前回の要望に関しての……。ごめんなさい、ちょっと気づかなかった。もしよろしければ、どうぞ。河田委員、お願いいたします。

○河田委員 小竹さんの締めくくりで結構です。

○小竹アドバイザー きょうは勉強会がないのでたっぷり時間がありますので。では、そういうことで、済みません。

それでは、こちらからの要望に対しての事務局からのお返事で、ほかに何かありますで

しょうか。

では、前回の要望に関しての議論は終わりにさせていただきます、本日の本題に入っていきます。

前回までで4回にわたるお勉強会を終わりにしましたので、これから本題に入っていくわけですが、前回の最後のときに、20分ぐらいありましたか、実際にどのように進めていくかということで、1つ案を出していただきました。言葉の補足説明とかもあって、皆さん、大枠はほぼ共通の認識が得られているのではないかと思います。小分けのグループにするわけではなく、議論は全員で、このままの状態です。1つの机を囲んでやるが、うちは4つもテーマがあるので、4つの部会についての責任者というか、まとめ役のような方を複数出していくというのではどうかということで、今回は終わっております。

そのほか、きょうは栗原委員の方から、この段階でいっていただいてよろしいでしょうか。

○栗原委員 はい。

○小竹アドバイザー 栗原委員の方から資料は渡されていらっしゃるんですね。

○栗原委員 配っていただいていると思います。

○小竹アドバイザー 市民会議の進め方についてということで、ご意見がある。今回は時間が切れていえなかったということなので、続きということで……。

○栗原委員 いや、そうじゃありません。

○小竹アドバイザー では、よろしくお願いたします。資料が配られておりますので。

○栗原委員 「市民会議のすすめ方について」というA4、表裏のものが、私が出させていただいたものです。話し合いの進め方ということで、これは議事の進行の仕方ぐらいの意味です。中身にはほとんど踏み込んでいないものです。幾つか提案させていただきます。それを検討していただいて、これは丸、これはだめ、みたいな感じで皆さんで決めていただいて、あるいは別の提案もしていただいて、今後の議事進行ができればなと思っていますので、よろしくお願いたします。

上の○から順番にご説明します。幾つかあるので、ちょっとだけ話は長くなります。

発言時間ですけれども、私も1回にたくさんのお話をわーっとしゃべりたいと思うもので、振り返ってみれば長くなったかなと思う部分もあります。最初に小竹さんの方から、皆さんが発言できるようにというお話がありましたので、しゃべっているとわからないということもありますので、3分ぐらいたったところで、チーンとかいう音でもいいんです

けれども、鳴らしていただくと、そろそろ手短にまとめますという形で、自分の話したいことをまとめやすいだろうなということもありますし、時間的にもいいかなと思いますので、そういうことをしたらどうか。我々は話し合いに集中しなければなりませんので、申しわけありませんが、タイムキーパーは市の方にどなたかお願いしたいというのが1点目です。

2点目は、「発言は、まず手を挙げた人を優先」と書かせていただきましたけれども、これまで自分も参加しながら話し合いを見ていると、随分早いときに手を挙げていたけれども、発言は随分後の方に回ってしまったという……。

○小竹アドバイザー 私の視野に入るか入らないかというのがあって、本当に申しわけないんですけども。

○栗原委員 そういうこともあると思うんです。お1人でなさっているから、結構大変だと思うんです。ぐるっと見なきゃならないから。それは、後ろの方にも書かせていただきましたけれども、まず手を挙げた方の発言を一通り済ませていただいて、それから発言内容に関連のあること、きょうはこのことについて話しましょうということになったときに、関連する発言を皆さんから出していただくという組み立てにしてはどうかと思います。それが2点目です。

3点目は、3時間の会なんですけれども、「1時間半の時点で、それまで発言していない人に発言の機会をつくる」と書きました。これは、やはり皆さんが発言できた方がいい会ではないかと僕自身は思っていますので、わざわざこうする必要はないという考え方もあるかと思いますが、これは聞いた話ですけども、財政の部会の方では、皆さんがくるくる発言して、かなり議論が活性化しているといううわさを聞いております。なので、やはりいろんな人が発言されることが話し合いを活性化していくかなと思いましたが、これは1つ提案させていただきます。

4つ目は、全体の時間枠を守りましょうということなんです。私たち、これに応募したときに、1回およそ2時間ぐらいということで応募していると思います。ただ、ここは、話し合いの内容がもっともつとあるから3時間にしようという約束事で今現在は動いていると思いますが、6時半に始まって、終わりは9時半です。それがオーバーすると10時近くになったりもします。やっぱり夜遅くなりますし、疲れもします。ですから、基本的には時間枠を守ることを意識して、この会議をやった方がいいのではないかと思います。そのためには、2時間半、つまり6時半から始めれば9時の時点で、私たちの議論を一た

んとめて、傍聴の方があれば傍聴の方の意見を聞いたり、今後の事務的なことを整理しておかなければならないなら、そのことをやるというふうに組み立ててはどうだろうかと思っています。

5つ目は、「司会・進行に補佐をつける」と書きましたが、さっきもお話ししましたけれども、お1人でなさっていると、全体をぱっと見て論点を整理して、みたいなところは、結構大変な作業になるのではないかと思いますので、もう1人だれか補佐がついて進行してはどうかと思って、書きました。

ただ、下線が引いてあるのは、アドバイザーの小竹先生は策定委員会に参加されるものだばかり思っていて、僕はこう書きましたが、違うというお話をついさっき伺って、これは僕の誤解だったんだなと思いました。だから、これは実際にはこうではないそうなんですけれども、司会を2人でやっていたら、小竹先生が発言されたいときにも発言していただけたらと思うんです。せっかく参加していただいているわけですから、小竹先生にもぜひこれからの自由なディスカッションの中に参加していただければなという思いもあって、5つ目の提案をいたしました。

裏を見ていただきます。これは、具体的な提案ではありません。1つ目は、随分前にもいわせていただきましたが、職員の方も、せっかくこういう時間にここに参加されているわけですから、どういう形か職員の方とも意見交換ができるように工夫できないかと思っています。

2つ目は、他の部会ともどういう形か交流しなければならないのではないかと思います。前回の最後の方に、白石委員の方から、環境の視点をすべての施策にというご発言もありました。第四期長期計画の中にもそのようなことが書かれていると思います。であれば、やっぱり他の部会のテーマに関しても、環境のテーマを入れていってもらわなければならない。そこを強く意識して、見直しに臨んでいただきたいということを、ほかの部会でも話し合っていたらいいと思うんです。

そういう意味では、ここの部会だけで何か話をまとめれば、環境の問題がいい方向へ行くかということ、余りそう思えませんので、他の部会とどういう形か交流する。意見交換していくことを考えた方がいいのではないか。何か工夫はできないかなというのが2点目です。

以上です。

○小竹アドバイザー 進行については私もちよつと至らぬ点があって、どうやって進めて

いこうかと思っていたので、ご提案していただいて大変ありがたく思います。

私も、皆さんに発言していただく方法として、自分が汚い字で書いたメモを見ますと、第1回のときは自己紹介を兼ねていたので皆さんが発言されたんです。名前をチェックしたら皆さんの発言があった。だから、順番に発言してもらうのがいいかなとも思ったんですけども、でも、いつも赤松さんが1番というのは嫌かなと思ったりもしたので、私もそういう方法はどうでしょうかと思ったんですが、栗原委員から出ているのは举手した方の意見を出してと。

正直申し上げますと、私、ちょっと進めにくかったのは、関連したことが次に続くといいんですけれども、それともう一つの質問はというと全く違う話題が出てくることがあります。そうすると、ちょっと違う路地に入っていくので、そういう観点からしますと、どういうふうに進めていくかというのは時間を節約する上でも大事なかなと思います。

栗原委員がたたき台のような形で持ってきてくださっておりますので、そのほか、どなたか私案のようなものをお持ちの方はいらっしゃいませんか。もしあれば。

○河田委員 基本的には栗原委員のご提案というか、私はほとんど違うところはないんですけれども、1つだけあえて申し上げますと、1ページ目の最後の司会進行について補佐をつけるという項目です。これは、きょうからも含めてですけれども、今までのレクチャーと違って、これから内々の会議というか、討議になりますよね。そうした場合の会議の持ち方、あるいは議長というか司会の置き方。前回、皆川委員の方からも提案がありましたけれども、ほぼそういう形で進めることになると、今まで小竹先生にはご苦勞をかけましたけれども、今後、そういうまとめ役といいたいまいしょうか、議長グループが複数名そこへ座りまして、議事進行をするということを頭に置いております。この最後の項目については、ちょっとこれでやりましょうということにはならないのかなという気はしております。この点はひとつご留意願いたいかなと思います。

私の方が申し上げるのは、一たん栗原委員のペーパーが終わった後で申し上げようと思っています。これはこれとして、最後の司会進行のところを除いては、大体私も同感だということだけ申し上げたいと思います。

○小竹アドバイザー それでは、栗原委員がご提案くださっている紙に書いてあることで、栗原委員に対して何かご質問とかがあれば、それを伺いましょう。

その前に、今の司会進行のところの「アドバイザーも次年度の策定委員会に参加するので」の項目は変更になりまして、私がここで意見をいうのは、他の市民に対してそういう

権限がないんです。それはなぜかという、作文を書いていないんです。非常に面倒なことなんですけれども、私も作文を書いて、点は悪かったけれどもアドバイザーとしてどうですかとかいわれていけばまだいいんですけれども、全くそういうルートで依頼が来ないものですから、市民委員の一員として意見を述べることは、ちょっと筋が違ってきてしまうんです。

ただ、人間ですからぺろっと自分の気持ちが出てしまうことはありますけれども、そういう意味では、どちらかという、下手なんですけれども、議事を進めることを仰せつかっているというのがありますので、そこは変更していただかないと、ほかの市民の方に対して説明がつかないというのがございますので、よろしくお願ひしたいと思います。いいことはいろいろあるんですけれどもね。

それでは、まず栗原委員がご提案くださっていることについてご質問なりご意見なりございましたら。

○河田委員 発言のついでにという感じですが、挙手を優先する、これはこれでいいんだらうと思うんですけれども、実は、よく審議会なんかでやる方法なんですけれども、意見のある人は、自分の名札を立てておくんです。そうすると、司会の人は指名漏れがなく、まだ立っている人を指せる。もちろん、発言が終わったら名札を戻します。そんなことを工夫しているところもありますので、もしなんでしたら、ご参考までに。

○小竹アドバイザー いいですね、せっかくあるんですから。そういうことで、挙手かわりに名札を立ててくだされば、私も、動態視力が悪くても見逃すことがないので、それが1つ。

あと、時間を区切った段階で一言も発言していらっしやらない方に発言の機会を差し上げるというのはいいかなと思いました。私は、順番にするのが一番いいかなと思って、きょう来たんですが、そうすると、順番で、いつも1番でいいですかというのを確認をとらなければいけないとも思っていたので、今ご意見ありましたけれども、栗原委員のたたき台の上に河田委員の名札を立てるという案が出ましたけれども、それはどうでしょうか。

○近藤委員 私は、1人だけみたいな感じなんです、いわゆる緑・環境・市民生活分野となると、非常に幅が広いですよね。私自身は、私の地域の方の地域活性、環境浄化ということで出てまいりましたので、関係がないなんてことはないだらうと思うんですが、やはりそういう意見をということになると、ただただ1人だけという形で、皆さんが緑とか生活、その辺は割とつながりが多くて、ちょっと意見を出しにくい。その話が出ていない

ときには、ちょっと突拍子もないことをぼんといってしまうのもどうなのかということも気になりましたので、いわせていただきました。それをどういうふうに持っていけばいいのか。

○小竹アドバイザー そうすると、意見をいわない自由もあるということで、よろしいですか。

そうですね。確かに、まだ議事録で上がっていないのもありますけれども、自分の手元の記録を見ますと、緑のときに盛んに発言される方と、コミュニティのときに率先して発言される方、やはりグループがあるかなと思います。これからどのグループの責任になっていただくかを決めるときも、ちょうどよくばらせるのではないかと私は思っているんです。

それは確かにありますので、全員が全員その日にその項目について述べなくても、それはいいということで。

○近藤委員 関係ないわけではないんですが、ちょっといいにくいというわけではないんですが、この状態でいくと、皆さんがまとまっているのに突拍子もないことを、いろんな話を途中でぼんとやってしまうと、ちょっと違ったところに流れてしまうこともありますので、皆さん環境というのは全く関係ないわけではないと思いますし、私自身は地域活性ということをお願いして作文を書かせていただいて出てまいりましたので、そこら辺の違いが、ちょっとどうなのかと思ったものですから、遠慮しながら手を挙げておりました。

○小竹アドバイザー わかりました。では、積極的に名札を立てて、率先して発言していただく方と、意見が出たことによってまた新たな意見が思い浮かぶこともありますので、時間が来た段階で、ある程度順番にさせていただくけれども、そのときに発言しなくてもいい自由もあるということであれば、お困りにならないですね。

○近藤委員 そうですね。何となく躊躇しちゃっている部分があったので。

○小竹アドバイザー それでよろしゅうございますでしょうか。――では、そういうことでいかせていただきます。

そうしますと、2時間の間で9時ぐらい、平日は大体9時半までということですので、白熱していても9時に一たん切って、そこで傍聴の方のご意見とか、次回への橋渡しに移るということでよろしいですね。

私も、ちょっと優しい性格なもので。9時過ぎぐらいに盛んに手が挙がり始める。実は最初のころはお手が挙がらないんですけれども、8時50分ぐらいからよきによきと

挙がるんです。ですから、勉強会でずっと座らせられていた時間が、今まで4回は1時間ほどありましたので、それをじっくりかみしめて、自分の中で意見が醸し出されてによきによきと出るかなと思ったんですけれども、それを抑えることはできずにずるずるいったのがありますので、そういう形で、時間で区切らせていただいてやるというのは、1つ挙げたいと思います。

もう一つ、これから4つのグループでどういう方に取りまとめになっていただくかというのを具体的に決めていかなければいけないんですが、やはり速記の方、書いていただくのも、上月様の方からもいろいろご指摘は上がっていますけれども、多少時間はかかるので、毎回毎回のまとめのようなものをそのときにやっていった方がいいのかどうか、これはちょっとご提案させていただこうと思うんです。

そうしますと、取りまとめの方に負担がかかるということは現実問題としてあるので、議論の時間はなるべく長い方がいいんですけども、もう少し早目に終わるような形で、取りまとめの時間をつくった方がいいのかとか、そうすると、毎回の、今回の取りまとめのミニチュア版2回目ということで、4回の勉強会が終わって、さらにまた4回になるか5回になるかわかりませんが、策定委員会に向けてのまとめをしやすいのか。その辺は私もわからないので、どうしたらいいかなと思って。――では、河田委員。

きょう、河田委員はかなり発言しておりますので、ほかの方もご遠慮なく。

○河田委員 済みません、成り行きで。

それでは、今、小竹先生がおっしゃったことともかなりかかわるので、会のまとめ方、これからどういうふうにしていったらいいかという手順につきまして、私1人ではなくていろいろな方のご意見を聞きながらですけれども、私なりにまとめてみましたので、ご提案させていただきたいと思います。ただ、栗原委員のように手際よくペーパーにしてこなかったもので、口頭で申し上げます。しばらくお聞きいただくと幸いです。後ほどコピーか何かして。

原則として、この分科会は全体会議ですべてを決定する。この20人をさらに幾つかに分けるというやり方は避けたいと思っております。

第2は、各委員の心得になるのかもしれませんが、各委員は、調整計画に反映させたい項目を整理して議題として提出する。各回なり、次回の会議でも、あるいは3回目の会議でもいいですが、このテーマについては、自分はこういうことをやりたいということを、どうかひとつあらかじめ明瞭に整理しておいていただきたい。それは、審議の効率

を高めるためだにご理解願いたいと思います。

それから、この分科会はレクチャーを4回やったわけですので、今のところ、一応そのとおりの4分野に分けて、それぞれに全体会議の議長役を担当する数名を固定したいと思います。これは、前回の皆川委員の提案と全く同じなんですけれども、2名ないし3名、希望者の多いところは何名でもいいと思いますけれども。3名でもいいし、少ないところは2名でも、やれるところはやっていただければ。ともかく、複数名を固定して、その人はずっと最後の起草が終わるまで議長役といいますか、肝いりをやってもらおう。

会議ごとに議題を設定して、議長役となる者はあらかじめ論点を整理して各委員に通知するというをやりたいと思います。これはできれば事前に、次回、この次は12日ですけれども、12日の大きなテーマはこれで、個々の細かいテーマはこれでということぐらいまでできれば、それに沿って議事がスムーズにいくんじゃないかと思うので、そのあたりは固定された数名の人に、少し汗をかいてもらいたい。

一方、各委員というのは20名の委員なんですが、あらかじめ論点ごとに意見を整理しておいて会議に臨んでいただきたい。そのときの思いつきもあるかもしれないけれども、できるだけ効率よくやるためには、ちょっと予習をしてきていただきたいなということです。

それから、アドバイザー及び行政側の意見を求めることができるということで、分科会の方から小竹先生とか行政の方に質問いたしますので、それに答えるという形で発言をしていただければよろしいのではないかと思います。

議論が白熱する場合もあるし、全会一致の場合もあるかと思いますけれども、集約する場合は、委員の多数決といいますか、多数意見に従って右か左かを決めていきたいと思っています。

8番目ですが、議長となる者は、会議終了後できるだけ速やかに、正式な議事録とは別に、会議の要点を簡潔に記録して、これも各委員に、A4の紙1枚ぐらいの箇条書きではないのではないかと思いますけれども、決まったこと、決まらなかったこと、決まらなくて懸案のまま残ったこと、あるいは否決されたことも含めてですけれども、簡潔に記録して各委員に通知する。メールか何かでもいいと思います。できるだけメール、ファクスを使ってやるということです。

答申案の策定の途中段階では、他分科会とのすり合わせを行う。これは当然必要だと思います。先ほどから意見も出ておりますので、そのようにやりたい。やり方については議

長役、肝いりさんにお任せするか、それぞれのところで相談してやればよろしいのではないかと思います。

答申案は、議長役となった者を中心に起草し、全体会議で審議の上、決定する。これは最初の原則と一致するわけですがけれども、全体会議がすべてを決定する、こういう原理をそのまま貫きたいと思います。

以上、10項目が具体的な手順ですけれども、あと2つばかり、書いてございます。

「策定委員として当分科会は2名選出して会議に出席せしめるよう考慮する」と書いたんですけれども、これは実現するかしないかは別として、少なくとも当分科会は、前回、2名の方がいい、今回も2名の意見の方が多かったわけなので、市民会議として仮にそういう結果になるとときには、速やかに対応できるようにあらかじめ準備しておくことが望ましいのではないかと考えております。

それから、策定委員がどなたになるかは別なんですけど、策定委員は策定会議経過を適時全体会議に報告して、分科会の意見を策定会議に反映できるように考慮していただきたいということです。だから、この分科会は答申を出したからそれで終わりというのではなくて、策定会議の途中もずっとフォローして、それに対して策定委員を通じて、この分科会の意向、要するにこの分科会の素案がそのまま通れば問題ないんですけれども、そうでないことも予想されるので、それは随時というか、その経過の中でフォローしていく必要があるのではないかとということです。

したがって、3月末に解散とかいうようなことを考えておられるかもしれませんがけれども、公式に継続するかしないかは別として、策定委員と分科会との間の関係は、その後も続けていく必要があるのではないかと。これは私の考え方でございますので、皆様のご意見を賜りたいと思います。

最後、13項目でございます。調整計画の答申案ですけれども、答申案において基本構想及び長計の前文に当たるんですけれども、施策の大綱など、要するに対象となる、現在与えられているものを超えて、そういうところに遡及するような内容を答申に盛り込むかもしれない。そうなったときには、それらの答申が上の構想であるとか、そういうところに反映させるには、ここの文言をこういうふうに直してほしいという具体的な提案を、この分科会で決めて、そしてそれをしかるべき策定委員なり、あるいはさらにもう少し上級といいたいでしょうか、構想についての取り扱いを考えると提案して、建議していくようなアクションをとりたい、こんなふうに考えております。

ちょっと口頭でわかりにくくて大変恐縮ですけれども、私が頭で考えたことは以上でございますので、皆さん方のご批判、ご意見を賜りたいと思います。よろしく申し上げます。

○小竹アドバイザー かなり内容がいろいろあるご提案なんですが、済みません、今、皆さんの分のコピーをとっていただいてよろしいですか。よろしく申し上げます。

これから、こういう資料をお出しいただくときは、あらかじめコピーを……。

今回みたいなコピーは、あらかじめお願いしてよろしいですか。

○渡辺幹事長 事前にご連絡いただければ、こちらの方でコピーなり、そういう対応はいたします。大量だとちょっと問題ですけれども、1枚、2枚ぐらいでしたら、全然構いません。

○小竹アドバイザー 今回も、栗原さんや河田さんは、A4サイズに1枚、あるいは裏表で入ると思います。そういうものがあるようでしたら、事前にメールに添付して送るなり、ちょっと早目においでいただいてでもよろしいですね。

○渡辺幹事長 そうですね。当日、少し早目においでいただいても結構ですし、事前にファクスとかでも結構でございます。

○小竹アドバイザー それでは、今河田委員から出ましたことについてのご意見ということで、新垣委員。その後、西園寺委員、お願いいたします。

○新垣委員 河田さんのご説明についてはペーパーが配られてから具体的に提案したいことがあります、それ以外のところで、追加で私の方からお願いしたいことがあります。

今回、いろいろ議論を聞いて、勉強もさせていただいたんですが、どうやら農業、商業、先ほど近藤さんがいわれたような、要するに地域の活性化と安全性の問題について。それから、それらの問題につけ加えて、男女共同参画の問題についてはほとんど議論なしで通り過ぎている。

この問題についてぜひお願いしたいのは、詳しい方、議論のある方については、私はこういうふうに思っているんですがどうでしょうかという内容のペーパーを早目に委員の皆さんにお出しいただいて、ぜひ進めていただけないか。それ以外に自分の得意の分野について出される分については手短かにペーパーを出していただいて、発言するときにはそのペーパーを見てもらって議論する。早目にいただいておけば、そのペーパーに対しての質疑も、また委員同士でできるということがありますから、河田さんが、座長の方でちゃんと絞ってやってくださいよといった段取りに基づいてペーパーをそろえて検討していくことが事前にできれば、かなりスムーズに行く。

もう一つは、意見両立になってペンディングになった場合には、持ち越しでもう一回やることにしていただいて、座長かサブになる方は大変だろうと思うんですが、できれば会議の中で決定することは決定、持ち越しは持ち越し、否決は否決とはっきり整理して議論を進めていただいた方がいいのかなと思います。

そういうことだけつけ加えさせていただきたいと思います。以上です。

○西園寺委員 今の河田さんのご提案は、大体賛成です。要は、我々の範囲は4つのパートがあるわけです。その4つのパートごとに、最後の文章を書くところまで責任を持つ人を決めておいて、その人にリーダーシップをとってもらってやっていきたいと思いますという趣旨だと思うので、賛成です。

私がいいたいのは、ペーパーが必要と新垣さんがおっしゃったとおり、それもよろしいし、あとホワイトボードですか、そういうのをどんどん使って、皆さんの話をぼんぼん書いていく。黒板でもホワイトボードでも、それを活用してやっていったらいいかなと思います。その方が、後ほどまとめ役になる書記の方も、いいかなと思います。

○小竹アドバイザー この会場は黒板がありますし、ホワイトボードもありますので、使うことは自由だそうなので、そうしていただければと思います。

河田委員から提出していただきました資料、皆さんのお手元に行っていますね。それでは、この内容について、あと栗原委員からも先に出ましたものについて、ご議論があれば。

○白石委員 栗原さんの方から出ました最後の工夫のところですが、職員との意見交換もというのがあるんですけども、これについてはどのように可能なことなんでしょうか。それをちょっと。

○小竹アドバイザー それは事務局に対するご質問ですか。

○白石委員 どうですか、栗原さん。どの程度に。

○栗原委員 事務局の方たちは、最初の方にご発言があったかと思うんです。自分たちは事務局なので、この会議がスムーズに進行することをサポートする役割なのだ、市民委員が活発に意見交換することがこの市民会議のあり方として必要なんだというお話があったかと思います。

ただ、それに対して、僕は委員の1人ですけれども、市民会議の委員として、いやぜひ市の職員とも話をしたいのだ、市民だけで話し合っているという形ではなくて、市の職員とも一緒に話をしたい。それこそ、これから市民と行政とのパートナーシップとかそういうことを目指すのであれば、1つの形として、やっぱり必要なんじゃないか。目指すべき

形を先取りしましょうという思いはあるわけです。

具体的にどうすればいいのかということは、今私の中にこうすればいいんじゃないかというのがあるわけではないんですけれども、目指すべき方向はそちらだということが、私の中にはあるということです。

○小竹アドバイザー これは、行政サイドへのご質問ということでいいですね。

○渡辺幹事長 今栗原委員から、先ほどもあったんですけれども、最初にもお話ししましたけれども、私どもは企画調整課から仰せつかっているというのがございます。こちらの市民会議の部会としての事務局です。

まず第一義的なことは、市民の皆さん方の意見をお出しいただくというのが、この会議の一番の目的ですし、それをサポートするのが事務局である。その中で、ご質問等ございましたら、それは事務局がお答えいたしますということですが、積極的に対等な立場で意見に加わるということは、それはこちらとしては考えておりません。それは趣旨からずれてしまいます。

ただ、委員の皆さん方から発言を求められた場合には、それは対応できる範囲で、もちろんこちらでもできる範囲でお答えはしたいなと思っております。

○久木野委員 私、タバタさんという方がいたころの都市計画のある策定委員会を傍聴したことがあるんですが、タバタさんは土屋市長の時代から、ほかの会議では見られなかったような運営をなさって、市の職員にも傍聴者にも意見を求めたということをよく耳にしたんです。そのときに、市の職員の方の意見というのは本当に貴重というか、そんなことを市民の方がいっても、それは現実こうなんです、こういう事情があったんだよとか、いろいろ話されて、非常に参考になりました。ですので、求められなくても発言したいときには発言していただけた方が私たちとしては参考になるかなという思いがあります。

○小竹アドバイザー ご質問ということでよろしいですか、今のは。

○久木野委員 意見でもいいです。

○小竹アドバイザー 意見ということで承ります。

○富川委員 私も今の久木野さんと同じような経験をしたことがあるんです。

3、4年前に、クリーン武蔵野の中で、武蔵野市のごみ行政の実態調査をやったときに、周辺の自治体を回りまして実態調査をしたことがあります。そのときには、我々市民だけでなしに、ごみ総合対策室の係長といいますか課長補佐の方と、数人で同行して回ったわけです。今の久木野さんの話のように、我々の持っていないチャンネルだとか情報だとか

というのは、やっぱり市の職員の方は随分持っておられるわけです。

だから、遠慮されておられるんじゃないかとは思いますが、積極的にそれなりの情報だとか独特の成果といいますか、そういうものを開陳していただきたいなと思います。

○小竹アドバイザー ご意見ということでよろしいですか。

○富川委員 ええ。

○渡部委員 私も、ぜひ職員の方と、事務局の方と一緒に議論を進めていきたいなと考えています。

私、今までずっとこの位置に座っていたものですから、どうしても、残念ながらネガティブなつぶやきが聞こえてきてしまうんです。例えば「できっこねえよ」とかそういうことが聞こえてきちゃうんです。そうすると、できっこないようなことを一生懸命みんなで議論していてもしょうがないので、貴重な意見をお持ちだと思いますので、ラフにみんなで議論を進めていきたいなと思います。

○石川委員 私も一番最初にそのことをお話ししたと思うんです。一緒にやりたいと。

これは、確かに邑上市長が、市民が真ん中だという話になっちゃったものだから、極端に言えば、今までこちら側に行っていたものが180度こちらへ来ちゃったような感じで、私はそう思います。そういつてはなんだけれども、市民がどういうことをいうんだろうか、ほうっておいて見てみようということじゃないと思うんですが、あくまでも何のためにこういう計画をつくるかということを考えていただきたいんです。それは、あくまでも市民は市民の立場でやるし、行政は行政の立場でいろいろ情報を持っているから、それを持ち寄って、よりよい計画を立てるとというのがこの計画の目的だと思います。これが基本の計画なんですから。

そのときに、行政マンが、それは知らないよというのは、僕は逆に言えば非常に無責任だと思います。そうではなしに、あなたたちも給料をもらって仕事をやっているわけですから、いわれたことだけやるというのではないはずですよ。当然時代も変わる、いろいろ変わった中で、行政のあり方なりこういうことはどう変えたらいいかというのは思っているはずだし、我々は我々で市民として実際にいろいろ生活した中で、こうやったらいいんじゃないかということを考えているわけです。それが、極端に言えば、今までは取り入れられなかった。

一応、形としては市民が参加しているあれがあったかもしれないけれども、こんなに真

ん中だといきなり我々が出されちゃって、責任もあるんだけども。

ただ、そこで私が心配するのは、ここの議事が公開されるということで、我々は一市民だから、極端な話、何が議事に載ってもいい。しかし、例えばあなたたちがそういう発言をしたときに、やっぱり1つのポジションを持っている人間が発言したということで、何かまずい問題が起きてしまうんだったら、極端なことをいえば、行政マンの発言は、要するに議事に載せなくてもいいですよ。載せないという前提で、そのかわりフランクに、我々がこういうことをいったら、「いや、それはこういうことがあるから無理でしょう」とか。ただ、「無理でしょう」という否定だけじゃなくて、ではこういうのはどうですかというところまで出していただきたいわけです。それで初めてお互いに議論ができるわけですから。私は、そういうことをぜひお願いしたいと思います。

公開、要するに議事録に載せてしまうということは、確かに行政マンとしては、余り個人的な発言とかはできなくなってしまうと思うけれども、これはもう今いったように、こういう会議でいろいろフランクに話をしようというんだったら、要するに真ん中じゃないわけです。みんな一緒だと思うんです。行政マンも一緒に1つのテーマについて一番いい方法は何かを論議すればいいので、そこはぜひひとつ考えていただきたいということです。

○小竹アドバイザー ぜひ積極的に発言してほしいというご意見が多いということでもよろしいですね。ただ、その体制がとれるかどうかです。渡辺さんは毎回この会議においていただきますが、あとは……。 （「みんなのことなんですよ」と呼ぶ者あり）そうですね。

○渡辺幹事長 こちらはワーキングですね。説明したのは管理職です。ですから、あの者たちが毎回出るというのは、それは正直なところ、苦しいかなと思います。あとはスタッフが担当ですので。逆にいうと、失礼な話ですけども、ある程度のポジションにはいないんです。課長となると、課長の発言は確かにいったとおりの重みがあってちょっと違うんですけれども、それが1つ、違いになります。

あとは、これはきょう、結論の方は持ち帰らせていただいて、これは恐らく全体に反映するんです。この部会だけではなくて、全部会になります。ですから、これは企画調整課と調整させていただいた方がいいかなと思います。

「積極的に」という部分がどの程度になるのか、発言を求められたときにお答えするというのでよろしいんですけど、こちら手も挙げてという形になると、ちょっと趣旨が違う。

○小竹アドバイザー かなり踏み込んだご意見をもらいたいというニュアンス……。

○渡辺幹事長 そうすると、やはりもともとの企画調整課といいますか、市の方が想定していた市民会議のあり方と若干ずれていってしまうのかなというのがあります。その調整といいますか、させていただこうかなと。

○久木野委員 そのあたりは議長に任せたらいかがですか。議長がころ合いを見計らって、どういうお考えですかというのを向ければいいんじゃないですか。

○小竹アドバイザー そうですね。あと、このメンバーでは答えにくい話題の場合もあるでしょうから、持ち帰っていただくことになるかなと思います。今までの勉強会のように張りついていただくこともなかなか難しいですね。

いずれにしても、ちょっと持ち帰っていただくというお話でよろしいですね。要望としてということ。

○渡辺幹事長 そうですね。それは、今回の要望として、次回、回答する形になります。

また、今おっしゃったような議長役の方から振られるといいますか、意見を求められれば、それは回答するということになります。

○白石委員 今お答えになったことは、意味が全然違うと思うんです。自分はこう考えるということで、それは議事録からは外してもいいよというのが石川さんの意見だったと思うんですが、お顔を見ますと、皆さんお若い方ばかりですね。これから成長していかれる方たちの個人の、自分の思いみたいなもので、私はいんじゃないかと思うんです。具体的に、今こうなっていますということを知りたいんじゃないかと、これから一緒にどうつくっていくか、そういうことをやることで、若い方たちに元気が出てくるというか、そんなことも非常に期待しているんですけども、そういう意味での参加の仕方というのはどうなんでしょうか。

○五十嵐交流事業担当部長 この市民会議の性格は、やはり市民の皆さんに話し合っただけ、これが原則です。しかし、邑上市長も、職員もどんどん行って勉強もしなさい、あるいは発言もしなさいといっているわけです。我々職員は、先ほどお2人か3人か、思いの部分も述べられましたけれども、これは通じるというか、非常に理解できる。そうですよねと思う部分があります。

ですから、積極的に参画はしていきたいと思っておりますけれども、やはり市民の皆さん中心の会議ですから、例えば、我々はもちろんいろんな情報を持っています。考えもありますけれども、何か議論していった後に、そう思っているんだったらどうしてあのときいわなかったのかとか、そういうふうになりたくないし、逆にそう思って、自分が知っているこ

とをいわなきゃというのであれこれいい出すと、職員ばかりいろんな話をして、市民の皆さんの議論が十分できなくなる。こうなっては本末転倒だと思うんです。そういうことで、職員にはどんどん求めていただいて結構です。君たち、この意見はどうなんだと。だけれども、職員がどんどんいうことを期待されるよりは、むしろ皆さんの会議なのかなと思います。

○今木委員 この会について私が感じていることです。策定の中に盛り込むことが目的なんですけれども、市民と役所側がこういう会を持つことは今回が初めてだと思うんです。私はこの会に何を期待しているかという、市役所側の方、職員さんと、市民がいい関係をつくって、お互いに信頼関係をつくって、これから共同で何かをやっていくことだと思っています。

だから、市の方の意見も聞きたいんですけれども、あくまでもそれは相手を責めるとか、こういったからよくないとか、そういう意味ではなくて、いい関係をつくるための話し合いという感じで、お互いにラフになって、気楽に物がいえるようになればいいなと思っています。

だから、ここは市民会議で市民の人たちが話す場合だからと言い切ってしまうしないで、みんなでラフに話し合いができる関係になればいいなと思っています。

○小竹アドバイザー そうしましたら、議長役の方は積極的にご意見を求めることがあるということで、ご参画いただきたいとお願いしたいと思います。

それから、議事録に発言を載せるか載せないかを決めておいた方がよろしいかと思いませんけれども、ご意見はありますか。

その前に、西園寺さんの手が挙がっておりました。今回、ちゃんととらえたので、どうぞ。

○西園寺委員 全く今お2人がいったとおりで、長期計画なので、これから10年後、20年後に武蔵野市全体がどういう方向を目指していきたいかという夢を語る場なわけですから、大変申しわけないけれども、そちらにお座りの方は、20年後には多分リタイアされて、市民に返られているということですよね。こちらにいらっしゃる方たちが市政を担う主人公になっているわけなので、いってみれば、長期計画のときはこちらの方にどんどんいってもらいたい。本当はこちらが主役かなと思う。そのくらいの気持ちなんです。

ですから、まとめを一生懸命書いて、これで仕事が終わったというんじゃなくて、これだけ時間をかけて、家族の犠牲を強いて、この場に来ていただいた職員の皆さんにもいろ

んな感想、夢を聞きたいなと思います。

○小竹アドバイザー あと、議事録に載せるか載せないかにつきましても、ご意見がありましたら。

○皆川委員 今出ております件については、渡辺課長、ひとつよろしく。決断どうこうということじゃないと思いますし、せっかくこういう場を設けたんですから、大いにディスカッションして、あるいは我々のいっていることがちょっと見当外れなことがあれば、あなた方何を考えているのという形でやられてもいいと思います。せっかくこういう場があるわけですから、この場はみんなのもの、我々はアウトサイダーでということに割り切らないでお願いしたいと思います。

私がちょっと申し上げたいのは、河田委員の話の中で2点ほど。その他は全くおっしゃるとおりだなと思っていますので。

まず1つは、9の「答申案策定の途中段階で他分科会との擦り合わせを行う」とあります。他分科会ということは、緑とか環境とかいうことじゃなくて、他の分科会ということだと思います。これはちょっと、僕は事実上不可能だと思います。しかも、策定委員会が次にあるわけですから。ここの考え方をまとめて、緑なら緑、市民1なら市民1について策定委員会の中で論議していく。そこで調整をとっていくということによろしいのではないかと。これはやっぱり、時間的に無理じゃないかと思います。

その点が1点と、策定会議と当会議の関係、3月で「はいさよなら」ということじゃないだろうという意味合いのことをおっしゃいましたが、全くそうで、私、記憶にありますのは、市民会議の委員募集のとき、今後も、我々代表から1名は行くが、あるいは2名になるかもしれませんが、そこでやった中で、市民と策定委員との会合あるいは我々市民会議のメンバーとの会合ということはあると記憶しておりますので、むしろ継続されていくものという認識を持っていますし、もし私の認識が間違っていたら、どうかひとつそういう方向で、せっかくここでやっているわけですから、もちろん代表にはお任せしますが、やっぱり、実はあれについてはこうだということがあってしかるべきじゃないか、そんなふうを考えますので、よろしく。

〔「継続するんですか」と呼ぶ者あり〕

○小竹アドバイザー ちょっと質問という形で先にとらせていただいてよろしいですか。この委員会の……。

○渡辺幹事長 では、これは企画調整課から。

○千葉企画調整課課長補佐 きょう、初めて来させていただきました。私は企画調整課の千葉といいます、実は、都市基盤分野の担当ということで、いつも都市基盤分野の市民会議に参加しているんです。きょうは、市民会議立ち上げ後3カ月ぐらいたちまして、皆さんのいろんな分野の市民会議に顔を出して、いろいろご意見いただくということで、参加させていただきました。だから、ちょっと今までの議論がわからない部分もありますが、今の皆川さんのご質問についてお答えします。

皆川さんがおっしゃる認識のとおり、一定の提言書をこちらの緑・環境・市民生活の市民会議で提言書という形でまとめていただくところで、まず1つの目標は達成されますが、その後も策定委員会と市民会議との意見交換、例えば討議要項ですとか調整計画案ですとか、そういったものができた段階での意見交換は持つ形をとっています。ただし、それまでの間、ずっと市民会議をやっていくのかというと、一定の提言書は出していますので、こういう会議という形では行いませんが、策定委員会との意見交換という形のもの行われる予定です。そういう意味では継続になります。

例えば、皆さんの中で策定委員会の方を1人お出ししました。その方と、公式じゃないけれども、非公式で、月1回とか2回とか、話し合いの場を持ちたいとか、そういうことをやっていただくことは、それはよろしいかなと思います。そういう意味では、継続という形のものとはとも考えております。

○小竹アドバイザー そうしますと、例えば提言書が出た後に、何か文書が行ったりして、意見が欲しいとかということがあるということですか。

○千葉企画調整課課長補佐 意見交換をする場でご意見を出していただくということもできますし、その他、今想定しているものでは、市民会議の皆さんだけが市民ではないので、広く市民の方とか団体の方とか、そういう方とのヒアリングというんですか、意見を聞く場を設けることを考えてはいるんです。今でしたらパブリックコメントとよくいわれるものですが、例えばメールとかファクシミリとか、そういうものでご意見をいただくということも行われていますが、そういうのもあわせて実施するということは考えております。

要するに、市民会議の形で意見を出していただいても結構ですし、市民、団体のヒアリングの場を出していただくのも結構ですし、個人的な形でメール等を出していただく、いろんなパターンで策定委員会の方にご意見を出すという形のことは考えております。

○新垣委員 2点ございます。

1点は、皆川さんのいわれた9項についてですが、私のところには教育の市民会議と福

社の市民会議の方から、コミュニティに絡まって、お互いに競合する部分だし、それについてすり合わせをする必要があるねという話が来ております。できれば、ここで議論したら、議長のまとめて整理したものを関連のところにペーパーでお渡しするので、それでやってほしい。逆に、他の分野のところで、この市民生活のところで関係してくるようなこととか、環境で関係してくるようなことがあったら、そちらでまとめて議論の進行状況について、こちらにペーパーでお知らせいただいで、とりあえず相互の議論がどういう格好で進んでいるかということを一遍確認し合うということ、ぜひ途中でしていただきたい。それは、さほど難しいわけじゃなくて、事務局の方で取り計らっていただければ、それで。

ただ、その先で時間があればという限定で、一遍代表がそれぞれ持ち寄って、それについてすり合わせをするということができるかどうかについては、それ以後の課題とさせていただきます方がいいんじゃないかというのが1点。

2点目は、他の分野では現場を調査、視察する日程が入っておって、実施されるというのも聞いております。例えば、ここにあった近藤さんのペーパーを見させていただいたんですが、全員がそろって行く必要はないんです。ある日程を設定して、近藤さんを含めてどういう状況になっているか現地を見て、どこに何の問題があるかということ、皆さんがある程度把握する時間をとることが、近藤さんが説得力ある解説をしていただく前に、やはり百聞は一見にしかずという格好です。

それから、商業関係の問題についても、現地の商店の皆さんのご意見を一遍お伺いするようなことも含めてやっていかないと、得意分野でないところはそういう格好が必要だという感じがします。

私が今一番頭を悩ませているのは、男女共同参画は私自身非常によくわかっていない部分なので、私自身、さてこれをどうやって勉強しようかなと、今いろいろ書物を開いております。この問題についても、ひとつ何かそういうことを。何回もやらなくても、ある1日を決めて、その1日に参加できる方だけでもいいから現地を見て、それぞれ見ながら議論して、一遍体験するというのをぜひ実現させてほしいなと思っています。

話的には、4つの分科会が終わったところでそういう日程を決めてやるということで、さらに進化するんじゃないかという感じがしております。

○小竹アドバイザー　ちょっと整理させていただきますと、今まだ議論がありますのが、他分科会とのすり合わせなり何らかの意見交換をするかしないかという意見で、する時間

はないのではないか、それは策定委員会でやればいいのかというご意見と、今の新垣さんを初めやった方がいいというご意見。それから、栗原委員からいただいている一番最後の項目に他分科会との交流と書いてありますので、そちらをどうするかというのを議論していただきたいと思います。

今新垣委員から出たのは新しい問題で、視察。視察は行政のサイドに要望を出させていただくようなタイプのものとか、あるいは有志で集まっていたくものがあると思いますけれども、とり行うことはこの委員会では可能でございますので、そのこと。

まずその2つ。

それから、その前の段階をまとめさせていただきますと、栗原委員のペーパーの市民との交流は積極的に行わせていただきたいということで、市の側もやっていただけそうだといいことですね。この点、よろしく願います。

では、他分野とのすり合わせについて、いかがでしょうか。実は私、きょうの会議で、これからどの委員がどこをまとめるかという議長役を選び出したりするときに、うちの分野の中でも4つの分野が孤立していなくて、コミュニティは緑にも環境にも防犯にもかかわっているわけですし、市民生活1というのが一番いろいろクモの糸みたいになっているかなという印象もあります。この後、ご提案させていただこうと思っているんですけども、市民1を先にやる方がいいのかどうなのかとか、そこも迷っているぐらいなんです。

そういう問題もありますし、そうすると外との整合性をどうするか。それを議論していただきたいと思います。

まず、私の方からご質問させていただきたいのは、他分科会に資料をお渡しするとかということはお頼みしてよろしいわけですね。例えばこちらでまとめた意見書じゃないですけども、何でしょう、要点みたいなもの……。

○千葉企画調整課課長補佐　こちらの話し合いの中で他分野にかかわるようなものを、例えばご意見という形で他の分野の市民会議の方に出していただくことについては、特に問題はありませぬし、そういう形で出していただいた方が、むしろ他分野の方も気がつかない視点で、もしかしたら議論の中に入れていただくということも考えられると思いますので、それはしていただいてよろしいかと思えます。

○小竹アドバイザー　受け取られた部会がどういうふうに取り扱われるかわかりませんが、出せば届けてくださるということですね。

ほかに何かご意見はありますか。本当のすり合わせは、最終的には策定委員会でやると

いうことなのでしょうが、皆川委員、いかがですかね。すり合わせを……。

○皆川委員 他の分野と議論し合う、そういう感じを受けたものですから、それをやっていたんじゃ大変な時間だなと。ただ、こちらから出て、それを担当分科会に提案していく、これはやぶさかじゃないし、むしろあった方がしかるべきだ、そう思っています。

○小竹アドバイザー そうしましたら、議長役の方あるいは委員会の中で決定して、これはどこどこ委員会に出すということで、お願いします。

それは、何か正式なタイトルをつけたりする必要があるんですか。

○渡辺幹事長 いや、普通の文書で、ペーパーにまとめていただければ結構でございます。

○小竹アドバイザー そうすると、緑・環境・市民生活分科会、何月何日資料という形でよろしいですね。

○渡辺幹事長 そうですね。それで、何々部会あてということで。

○小竹アドバイザー わかりました。そのようにまとめていただくということで、よろしくお願いします。

あと、新垣委員から出ました現地視察の件ですが、新垣委員から出たお話が、かなり1つ具体的な案がお出になっておりますが、それを含めて、あとは、ほかにこういうものも視察したいというのがございましたら、今ここで挙げていて結構です。（「その前に、河田さんの件について」と呼ぶ者あり）ちょっとお待ちくださいね。視察の件はもうちょっと置いていいですか。

それでは、河田さんのご提案された紙について。

○久木野委員 済みません、私、ちょっとおくれましたのは、実は本会議を聞いていたんです。そこで、11番の策定委員として市民の方から2名出すことに関してですけれども、ある議員からそういう提案がありましたが、市長の答えとしては、「今のところはそれは厳しいかな」という答えでした。ということは、各分野から5名が10名になりますよね。そうしますと、全体として大所帯になってしまって、意見をいい合う場としては、「今のところは」ということで、これから私たちの働きかけでどうなるかわかりませんが、そういう答えでした。

○小竹アドバイザー 重要な最新情報をありがとうございます。ほやほやの情報ですね。

これは、策定委員を選出するときに、この委員会で最終的に決めていって、もし要望があれば出すという形になりますし、今の市長のお考えとしてはそういうことだということで、情報をいただきました。

そのほか、河田委員のペーパーで。

○石川委員 これ、大綱は非常によくできていていいんですが、さらにちょっと具体的な問題があるんです。

2番目の「反映させたい項目を整理して議題として提出」とあります。これは、実務的なこととお話ししますと、長期計画の111ページを見ていただきたいんですが、一応我々の目的としては、要するに今ある基本計画についての調整ということが1つの大前提になるわけです。ですから、ここで反映させたい項目というのは、ここに「施策」というのがあります。この施策について、施策からさらにこちらに、事業（実行計画）でいろいろ項目がありますけれども、少なくとも、自分はどういう意見があるということを、まずこの施策ごとにまとめていただくことがいいんじゃないかと思います。

ただ、問題は、これだけの施策でいいのかということがあると思いますから、それはそれで追加してこういう施策をやったらいんじゃないかという整理。そういう格好で皆さんが整理してくれれば、実際に会議に出たときに、まず1つずつ施策についてどういう評価なり問題点があって、自分はこう考えるというのをそれぞれに出していただける。それを議論していけばいいんじゃないか。そういう格好で整理しないと、具体的にいって、皆さんがどういう格好で出されてくるか、余りばらばら出されてきて、それをまたばらばら話をされても、それを整理するのにすごく時間がかかってしまうということで、それを提案したいと思います。

もう一つ、多数決で決めるというのは、原則としてはいいんですが、ただ、場合によっては少数の両論併記といいますか、そういうことがあってもいいんじゃないかという、これは1つの提案です。

その2点です。

○小竹アドバイザー 2つご提案がありました。河田委員が提出されたペーパーに関してのことですが、まず整理して議題として提出するということですが、これも私、ちょっとご提案させていただこうと思いましたが、4回の勉強会のときも、ばさばさ見て、結構大変でしたよね。「え、どこ？ 商工会議所の何番目？」と喋っているうちに次の話題に移ってたりしますので、例えば単純に「持続可能な都市の形成」をAにして、「緑豊かな都市環境の創出」をBとかにして、上から順番に番号か何かを振る。35項目なんです。そうすると、35項目めの「文化施設の整備」として、わかりやすい番号振りか何かをした方がいいかなというのは私も感じているんです。それをご提案させていただきま

す。（「これ、基本施策に分けるわけですか」と呼ぶ者あり）そうですね。あるいは、施策が 35 ですので、その施策で番号を振って、17 番目の何とかということでもよろしいかと思います。

それと、勉強会のときに、うちの分野ではなかったんですが、例えば都市基盤の 118 ページのところ、それこそ近藤委員なんかも強く関係してこようかと思えますけれども、雑居ビル等の防災・防犯のところなんかは、うちにかなり強く関係しているわけです。ですから、そういうところは飛び込みというか、広がったテーマとしていくわけですし、そのほか 119 ページの防災システム関係のところでも話題がありましたので、そういうものは追加項目として入れていくということで。

これは、次回なり、私、プリントをつくっておきますので、番号で、わざわざ項目を書かなくても、17 番の項目とかとすれば一致できるように。

○西園寺委員 今のお話なんですけれども、きょう渡されたこれがそれに相当すると考えればいいんじゃないでしょうか。大きい冊子の 25 ページからが我々の分野で、ずっと長計の並び順で並んでおりまして、40 ページまでずっと並んでいるわけで、しかもコード番号がありますので、これを使えばいいということだと思います。

○小竹アドバイザー そうですね。では、きょう配られた A 3 の横長の紙のコード番号を使って、わかりやすく出すということでもよろしいでしょうか。

それから、多数決で決めることに関して、少数意見あるいは非常に大きく 2 つに別れる場合などは、先ほどの新垣委員のご意見ですと、決定とか持ち越しということを確認にして、次の部会に移った方がいいということでした。少数意見についてのご意見が何かありましたら、お願いしたいと思います。

○皆川委員 今の石川委員の 2 番目の両論併記、これは全くそれでいいんじゃないかと思えます。むしろそうすべきじゃないか。どうしても結論が出ない場合があると思えますので、それは両論併記ということでもいいと思えます。

それから第 1 点の「施策」だけということについては、むしろ行政サイドなり、あるいは策定委員会なり、我々市民会議で求めているのはこのピンク色の「事業」の方ではないのかなど。ですから、もちろん施策について議論し、あるいは意見を述べていくことはあってもいいですが、むしろ事業、これがかなりウエートを占めていくんじゃないか、そんなふうに思いますので、よろしく。

○小竹アドバイザー 今皆川委員の方から、施策よりももう少し細かいレベルの話題区切り

にした方がいいのではないかというお話が出ましたけれども、いかがでしょう。これ、例えばご自分の意見をまとめて出されるときはコード番号にしますか。

では、それに関して。

○石川委員 一応、こういう施策別に出します。出して、実際にはさらにそれを分けていく今度はこの中の実行計画の項目に基づいてある程度まとめていくようにはなるかもしれませんが、ただ、最初からそれをやってしまうと余りにも細かくなり過ぎるので、とりあえずこれを出しておいて、あとこういう中に、また分けていけるなら分けていけばいいし、またそれで足りなかったらそこに足していけばいい。それはもちろんそれでいいと思うんです。（「くくりとしてということですね」と呼ぶ者あり）はい。

○小竹アドバイザー それでよろしゅうございますでしょうか。

コード番号そのものが、1つ1つ事業計画に対応しているので、その番号を使っていた。その皆様のご意見を、河田委員がご提案くださった2番目の整理して議題として提出するというのは、何か統一して書式をつくられますか。それとも、それぞれ好きな書き方でいいでしょうか。

○河田委員 私のイメージは、必ずしもそれは固定的でなくたっていいと思うんです。議長さんが中心になって取りまとめているわけだから、それぞれのやり方があっていいのではないか。

それともう一つ、これは長期計画の調整でございますから、もとの長期計画と対比するものをつくらないと意味がないというか、ぐあいが悪いのではないかと思います。最後の111ページの表の書きかえだけじゃなくて、文章を含んだものを、左側というか、現在の長期計画、変更案はこうだという、左右対比する表というんでしょうか、そういうものまでつくと答申にならぬのかなというイメージを持っていたんです。その辺を少し、私の考えでいいかどうか、ご議論いただきたい。私はそういうことを答申案でつくるのかなと思っております。

よろしくをお願いします。

○小竹アドバイザー そうしましたら、まず2番目の項目の、議題として各自が提出するのは、書式は自由でいいということですね。

○河田委員 構いません。

○小竹アドバイザー それから、ちょっと新しい話題に移りますけれども、9番あるいは10番にあります答申案をどういう形式で出すかというところですね。今河田委員からご

提案がありましたのは、旧ページと新しい我々の委員会が出すものを並べて出すという案が出ております。

○河田委員 そういふことが必要なんじゃないかなと思つてゐるんです。

○小竹アドバイザー いかがでしょうか、ご意見がありましたら。

○河田委員 これを書きかえるんでしょう。その方法は、僕はそれぞれの議長さんに任せればいいんだと思ふ。

○小竹アドバイザー かなり煮詰まつてきた最終段階の仕事ですね。反対意見とかではないですね。わかりました。

では、このことはよろしゅうございますか。ご意見あるいはご質問がなければ。

それでは、先ほど出ました問題に戻りますが、新垣委員から出ました現地視察のことに戻らせていただいてよろしいでしょうか。

○島田委員 その現地視察なんですけれども、実際にこの間、玉川上水の木がどうこうといひまして、その後、市議会議員の方から手紙が来まして、あの辺を再開発するみたいな感じで、スーパーだか何だか知らないけれども、あの辺に建つという案が出てゐるらしいんです。それで、大体どの辺だか見当がつかないわけです。手紙を見てもわからないので、そういうのは、現地視察というのがすごく大事じゃないかなと思ひます。スーパーか何かわからないんですけれども、その敷地の中に大型店舗、イトーヨーカドー西館が建つぐらいのものが建てられると書いてあつたんです。

そうすると、現場もわからないから、実際にそういうのを見てみたいなど、現地視察で大事だなと思ひますので、ぜひ行ってみたいと思ひます。

○小竹アドバイザー ちょっとお待ちください。現地視察は全員じゃなくても、両方で日程を決めて、担当の部署の方が同行していただけるんですか。

○渡辺幹事長 場所によりますね。我々が、正式に市民会議として、いわゆる事務局がついていくのか、市民会議の方々だけで行かれるのか、一部有志の方で行かれるのか。例えば、今、具体的な話、議会でもちょっと出てゐるのは、関前一丁目ですか、あそこの三角地帯のところの話で、詳しい話は我々も知りません。

○島田委員 議員さんから手紙が来たので、どういふふうな……。

○渡辺幹事長 そうですね。その話はちょうどきょう、議会でやつてゐました。

○島田委員 環境とかそういうのが、ドンキみたいなのが来てほしくないとか何とか……。

○渡辺幹事長 ですから、あれを見に行けるかといふと、東京都の方なんです、水道局

の浄水場ですから。我々も普通に入れません。外から見るだけです。（「レッドロブスターの……」「もう決まっているみたい」と呼ぶ者あり）

○小竹アドバイザー 委員として手を挙げてご発言いただけるとありがたいんですけども。

それでは、現地視察につきまして、今1つ新垣委員から吉祥寺の周辺、前回話題になりましたところを現地視察に行く。夜行った方がいいのか、昼行った方がいいのか、その辺もわかりませんが、そのご提案が1つあります。

それから、今島田委員から出ましたところも案として出されますか。出しておいた方がいいですか。

○島田委員 そんなところでそういうものが建つから、環境とかそういうので。

○小竹アドバイザー そのほか、何かありますでしょうか。

○渡部委員 境3丁目と2丁目をつないでいる本村公園という公園があります。遊歩道のような公園なんですけれども、何回かの市民会議でも瀬口さんが積極的に発言されて、ここにコミュニティセンターを設置したいということで、今、中心になって運動をし始めているところです。

私はこの間、白石さんと現地を見に行っただんですが、かなり大木がありまして、民間の緑を守っていくということは、制度上の問題とかでも、本当に何とかしたくてもできない中で、今この武蔵野市で緑を確保するのがすこぶる困難な状況の中で、でも今ある緑を残していくことができるのであれば、市が確保している土地の緑をそのまま残すことが大切ではないかと私は思って、瀬口さんに申しわけないんですけども、私はそこには建物を建ててほしくないと考えているんです。

なので、本村公園のことについて緑化環境センターに問い合わせをしたら、公園以外には考えていないというコメントだったんですけども、公園を整備するにしても、やはり木は切っていただきたくないの、ぜひみんな、すばらしいところですので、そこも視察してみたいなと思います。

○小竹アドバイザー あと、どうしましょう。

○栗原委員 発言されていない人は、1時間半、たちましたから。（「もうたったの」と呼ぶ者あり）たったんですよ。それを言おうと思って。

○小竹アドバイザー 新ルールでいきますので、上月委員、お願いします。

○上月委員 先ほどの現地視察の関係ですけども、私、一番初めの自己紹介でちょっと

発言したんですけれども、パークゴルフ場の関係ですけれども、それは近辺にないんです。実際に皆さん全然わからないと思うのですが、川崎にパークゴルフ場があります。ですから、実際にそこへ行って見て、ああこれは本当に皆さんよく使えるものかどうか、そういうものを確認してもらって、ここに議題に上げたいと思うんです。どういう遊び方をしているかといったら変ですけれども、どういう人が使ってどれだけ人が入っているか、それが皆さん全然わからないと思って。

ですから、私の提案そのものは突飛なんですけれども、市民生活の中で老若男女すべてと一緒に遊べる。例えば小学生と親とおじいちゃんと3世代と一緒にパークゴルフ場はゲームができるんです。ですから、そういうものを実際に現地を見て、皆さんに理解なり了解なりしてほしいなと思います。

○小竹アドバイザー あと、現地視察に関してでよろしいですか、栗原委員。

○栗原委員 先ほど新垣委員から、男女共同参画についてはちょっとよくわからないというお話がありましたけれども、境にヒューマン・ネットワークセンターがありますよね。あそこの方たちは、男女共同参画を非常に強く意識して活動してこられたと思います。もちろん場所もありますしね。あそこに出かけて行って、あそこの方たちと日程を合わせて、こちらも行ける人が行って、今の課題は何でしょう、この長期計画でオーケーなのかみたいな話を、ぜひがんがんやっていきたいなと思っております。

それで、そういう計画はいろいろあると思いますので、例えば僕はヒューマン・ネットワークセンターについて、今手を挙げたわけですから、僕がそこと調整して、いついつ話をしに行きたいから、行ける人はご一緒しましょうと提案して、1つ1つ具体的にやっていったらどうでしょうか。

○小竹アドバイザー そうですね。どなたが音頭を取るかを決めたいと思っていたんですが、ご関心のある方が、その分野のいろんなネットワークをお持ちだと思いますから、これ、議事録に残るんですね。いい出しっぺの方が音頭を取るということでよろしいでしょうか。あるいは、何か見たいけれども、どこに行ったらいいかわからないということであれば、行政の方にアドバイスをいただくことにすればいいと思います。

そうしましたら、今、どういうふうに分けたらいいか考えどころなんですけど、今具体的に5つ出ております。これが、それぞれどの分野になるかによって、分野の議長さんが割り振るといふか……。〔「肝いり」と呼ぶ者あり〕そうですね、いい言葉をいってくださいました。肝いりでやっていくということでもいいでしょうか。

では、現段階で5つ。吉祥寺の華やかなところ。ロブスターの通りの五日市街道でしょうか、ちょっと私、わからないんですけれども。そこの前の新店舗に関する視察。（「五日市じゃないね、あれは武蔵境通りですか、水道通りですか」「あれは井の頭通り」と呼ぶ者あり）済みません、井の頭通りの新店舗建設のところ。それから、本村公園で、ちょっと委員の中で建てたいとか建てたくないとか、きょう分かれましてけれども、その現場を見たい。あと、川崎にあるパークゴルフ場ですね。あとはヒューマン・ネットワークセンターは境にある。

では、今5つ出ておりますので、各ご担当になられるであろう方と、その分野の議長さん、よろしくお願ひしたいと思ひます。それでは、現地視察につきましては、またご希望が出ればお出しいただきたいと思ひます。

今、河田委員と栗原委員のペーパーに基づいていろいろご意見を出していただけてきておりますが、そのほか、新しい課題や話題、問題点のご指摘などがございましたら、お願ひしたいと思ひます。

もしペーパーに関する話題がおさまりましたら、4分科会の、どなたが責任者になるとかいうところに移っていきたくと思ひますので、よろしくお願ひします。

○栗原委員 僕が出させていただきましたペーパーについては、司会進行に補佐を云々というところを除いて、おおむね了承していただけるようでしたら、その方向で進めていただけるとありがたいと思ひます。

あと、河田委員が出されたペーパーに関して1点だけ提案です。13番目です。「基本構想および施策の大綱などに遡及する事項」とありますけれども、恐らく、まずこれがないとまずいのではないかと。つまり、全体がどういう組み立てでつくられるべきなのか。そこで修正しなければならない部分はどこにあるのか、あるいはつけ加えなきゃならない部分はあるのかということ。つまり、基本構想とかそういう部分について我々がガーッと目を通して、これでいいのかと。基本構想には手をつけないというお話も最初の方にありましたけれども、実際には今の現実と合わなくなっている文言もあると私は考えています。そういう全体について私たちがどう見ているのかという部分を、最初の段階で固めておいて、そして全体はこういうことが大事だ、こういうテーマを全体の中に入れなければいけないということを立てた上で、おのおのの施策というんですか、そういうところにつなげていくという組み立てがいいのではないかと僕は思ひますが、いかがでしょうか。

○小竹アドバイザー 今ご意見が出ましたけれども、いかがでしょうか。

○西園寺委員 栗原さんのおっしゃるとおりで、実は個々の施策に対する意見よりも、もっと根本のことをいいたい部分がいっぱいあるというのは、私も同じです。でも、大きいことを先にいってというと、皆さん多分いいづらいかなと思うので、そこら辺は余りかちり分けなくても、今この 30111 の話をしたのに大きいことをいうなどいわないで、その辺は融通をきかせてやっていいかなと私は思うんです。大きいことだけ先にいみましょうといったら、多分皆さんいいづらいと思います。

だから、その辺は横道にそれるように見えるところがあるかもしれないけれども、それをうまくホワイトボードに書きながら、カテゴリーの大きいところと小さいところをうまくまとめていけたらいいかなと思うんです。

○小竹アドバイザー 議論が煮詰まると、どうしても大きな見出しではそぐわないとなってくることもあるので。

では、栗原委員がおっしゃってくださった意見としては、それは本質というか根底にあるものですので、臨機応変にやっていくということによろしいでしょうか。

そのほか、何かご意見ありますでしょうか。

○皆川委員 今の件について、企画調整課の方が出ていますから、大綱はいじらないんだ、長期計画を見直すんだという大前提があるわけです。その辺の所を、ひとつ説明してください。

○小竹アドバイザー きょうはちょうどいい方においでいただいておりますので。

○千葉企画調整課課長補佐 そうやっていただけると助かります。

今お話が出たんですが、今回の市民会議に集まっていたいてお話しいただくのは、募集の要項の方でも書かせていただきましたが、基本構想の枠組みの中でという話で書かせていただきました。これは、議会の議決が必要だというところが、実はまず前提でございます。今の計画は平成 15 年、16 年が策定期間で、17 年から 10 年間の計画を議会の議決をいただいて、今の 10 年の計画をつくっております。

では基本構想から変えればいいじゃないかという話も話としてはあるんですが、市の方向としては、今回は基本構想の枠組みの中で長期計画の現状を見ていただいて、市民会議の皆様には課題を抽出していただいた上で、提言という形でまとめていただくということをお願いするという形ですので、私どもの立場としては、基本構想を外れる部分については、はっきり申し上げますと、採用するのが難しい状況です。

ただし、そうはいつても、議論をしていく中で、基本構想のところまで立ち入ることも、

多分出てくるような状況にはなると思います。ここだけの話になりますが、それを市民会議の提言書という形で書いていただくことについては、私はそれはよろしいかなと思います。ただし、出していただいたものは、今度は策定委員会の方に上がります。策定委員会も当然のことながら、基本構想の枠組みの中でいろんな意見を聞きながら調整していくという形になりますから、基本構想の枠から外れるようなご提案をいただいた部分については、優先順位等も含めて採用できないという形が十分考えられると思います。

ただし、この計画というのは、当然ここで調整計画をつくったら終わりじゃなしに、次は多分4年後になるかなと思います。今のところ、予定ですが、第五期基本構想・長期計画という話になると思います。そうすると、基本構想をつくるという段階、今回、調整計画の段階でも市民会議という形をとりましたので、この形を継続すれば、第五期の基本構想・長期計画をつくる時も、また市民会議が想定されるんじゃないかと思います。

そういうところで、基本構想をつくるところで、皆さんに今回出していただいた意見が何らかの形で、前回こういうふうにした、こういう意見が出たということが反映されることがあるかとは思っています。

ただし、現段階では、基本構想の枠組みの中で議論していただきたいということで、これを超える提案については、策定委員会等で採用されないことは十分ありますので、その辺はお含みおきいただければと思います。

○小竹アドバイザー 今のお答えに関して。

○新垣委員 お説ごもっともだとは思いません。なぜかといいますと、策定された2年前の議会の経過以降、国の施策が大きく変わってきております。三位一体で押しつけられてくる分、金はやらないけれども権限はそちらにやるとか、ぐるぐる変わってきておるわけです。そこがちょっと書いてありますけれども、現実には私たちが長期計画の中で議論するときに、その問題が当面の問題として直接関係してくるわけです。そうしたときに、それをどうだということで、武蔵野的にそれを受けとめて、武蔵野としてはこれはノーですよとか、これはもうちょっと進めた方がいいとかという判断も出てくる。

そうしたときに、当然それは長期構想とは関係なしに、現実として変わらざるを得ないという問題は出てくるわけです。ですから、それ自身が策定委員会で反映されないなら、その策定委員会はやめた方がいいというぐらいに思います。

とにかく、長期構想まで及ぶんです、やれば。ですから、枠組みや長期構想にさわらずに、それは議会の問題だからというんだったら、それは市民会議でご意見があったものに

ついて、議会の方へ、それぞれの会派に回して、会派の方から議論していただくことだ
て考えられる問題ですから、余りそこを、今回これで諮問したフレームは変えないと、余
りかたくなにいわないでください。それをいわれると、こちらの意欲がそげちゃいます。

○皆川委員 新垣さんの意見と全く違いますが、こちらの中で意見として構想についてこ
うじゃないかと。あるいは私はこの冊子を読みまして、随分くどいなとも感じています。
そんなことも発言できる機会があればなど。ですから、我々は4分野の中で、その他とし
てこういう形で骨子についてどうだとか、あるいはこれなんかも、市民の立場に立ってみ
たら、くどいほど出ているわけです。もっと総論、各論という形でのまとめ方もあるんじ
ゃないかな、そんなふうに感じます。そういう場を出していくということで、この問題は
骨子まで入らなくていいんじゃないかと私は思います。

○石川委員 私、ちょっと具体的にいいます。皆さんに配られた 27 ページと、この基本
計画の 34 ページを見てください。

まず、この 34 ページの施策のところ、「緑豊かな都市環境の創出」というのは、目
標値 11.9 平方メートルに近づける、これがはっきり構想の中の目標になっているんです。
この間ご説明いただいた、今度はきょういただいたものの 27 ページを見ますと、要する
に 18 年度には 4.53 しかいっていない。これを 11.9 にする。これはあと 10 年間。近づけ
るといっているんだからそれにやるんじゃないといってしまうとそれまでなんですが、要
するにこの間に、ここに 1 人当たり約 7 平米のものを加えるということは、13 万を掛け
たら 91 万という数字になるんです。そんな 91 万の公園を目指していくということ自身が
非常に非現実的だ。というのは、ここには載っていませんが、今までの 10 年間でやって
きたのが、たしか 3 万幾らです。ただし、13 万人で割れば、せいぜい 0.2 平米とか、そ
の程度しかふえていないわけです。

そういう現実で来ていながら、こういうものが麗々と載っているというのは、ある意味
では絵に描いたもちだ。こんな基本構想では、現実にこれを展開するというにはなら
ない。逆に、現実にできることを展開していったら、こんなのはとても無理ですよ。ど
ちらからいっても同じなんですがね。そういうことになるので、当然これは基本構想にも
問題提起が出てこないとどうしようもない、こういうことだと思います。

○小竹アドバイザー そうですね。でも、私、アドバイザーとしては両方の意見に利があ
ると思います。議会を通さなければならないというのは、今の市政のシステム上、どうし
てもありますので、先ほど千葉さんの方からお話がありましたように、触れる部分という

か、変更していかないと現実に合わない部分というのは、次期の計画を立てる際に非常に有用な市民会議の結果として、形に残しておく意味がすごくあると思います。そこに触れなくていいというほど消極的になる必要はないと思いますが、ただ、現実問題としてかなりそれが反映されるのは次期とならざるを得ないというのは、システム上、いたし方ないかなと思います。ただ、余り反映されないからやらなくていいというふうにはどなたも思っていないと思うんですが、そういうふうには思っています。

そのことで、何かほかにご意見ありますでしょうか。では、栗原委員のお手が先に挙がりました。

そろそろ4分科会の責任者を決める時間に入りたいと思いますので、よろしく願います。あと30分ぐらいしかありません。

○栗原委員 それでしたら、あとこの件で発言したい方は、今手を挙げておいていただくのが。

○小竹アドバイザー 今、お2人。では、これで締め切らせていただいてよろしいでしょうか。――では、これで締め切らせていただきます。

○栗原委員 1つは、今の課題と関係なくて、僕の提案が通ったとすると、1時間半を過ぎていきますので、発言されていない方にぜひ機会を提供していただきたいと思います。

今の話ですけれども、僕は、市民が参加するということは、これまでの枠組みを変える可能性に向かって提案を出していくということではないかと思っています。これまでの枠組みは枠組みとして、もちろん決められた枠組みがあると思いますけれども、私たちはその枠組みで生きているわけではありませんで、私たちはこの方がいいんじゃないか、長期計画はこうあった方がいいんじゃないかという考えとここで集まって、ここは変えた方がいいんじゃないかということを提案したいと思っているわけですから、当然枠組みとぶつかります。僕は、枠組みとぶつかって、現実的にどうなるかはわかりませんが、枠組みとどんどんぶつかっていくことが、私たちにとっては意味があると思っています。

ですから、ぜひ策定委員会に市民会議から2人ずつ入りたいんです。なぜなら、そうしないと、市民委員の方が少数になるからです。ですから、市民の意見をなるべく本会議というんですか、次年度の本会議にも反映させたいんです。ですから、これから企画の方でも検討していただくんだと思いますけれども、僕はほかの市民会議にも、ぜひ2人ずつと提案を上げてほしいと訴えたいと思います。

○小竹アドバイザー それでは、きょう一番最初に出た話題のお2人につながりますね。

○西園寺委員 たびたび済みません。

私たち委員の皆さんにもぜひお願いしたいんですけれども、これだけの時間を使って、来年の3月まで時間とエネルギーを使ったんですから、最低1つは、何か、この市民会議のおかげで実現したんだという実績を残したいと思うんです。そうでないと惨めだと思うんです。

それに、作文を書いて、周りからもいろいろいわれてここへ来ているんですから、西園寺さん、結局どうだったのといわれたときに、冊子にこれを残しましたよというだけでは、恥ずかしくて地域に帰れません。やはりどんな小さなことでもいいから、この市民会議のおかげでここが変わったんだよと皆さんが肌で感じられるようなものが最低1つ必要なんです。

もちろん、私たちがここで提言したことが10割ヒットしなくても結構です。3割でも十分だし、最初だから2割でもしょうがないかなと思うくらいです。だけれども、絶対に1つか2つは、胸を張って地域に帰れるような実績を上げたいんです。そのためには、私たちが頑張るけれども、職員の皆さんにも、実現可能なことを、ここで決められるようなアドバイスが欲しいんです。そのために、職員の方の意見とか感想とかを聞きたいんです。できっこないことをいっていてもしょうがない。さっき渡部さんがいったとおりです。できっこないことをここでぐちゃぐちゃいっててもしょうがないので、だから実現可能なことを教えてほしいんです。

できっこないというのは本当にできっこないことと、もうちょっと頭をやわらかくしたらできるんじゃないかということもあると思うんですけれども、とにかく実現可能なことを、ここに来ていない人のためにも、来年の3月までに市民の皆さんに誇れるようなことを最低1つやりたいなと思っているんです。

○小竹アドバイザー それでは、お約束の時間になりましたので、まだご意見をおっしゃられていない方で、何かこの機会にという方。赤松さん、いかがですか。

○赤松委員 市の方からもいろいろお話が出ましたし、私たちの意見もいろいろありますけれども、これからいろいろ議題が出たり、問題提起があつて、それを解決していくんじゃないかと思しますので、1つといわず、どれだけできるかわかりませんが、今大事なのは何かということで、討論したり、足を使って現地を見たり、そして1回1回を大事にしていけたらと思います。これからがスタートだと思いますので。

○長嶋委員 この間、学習会をやって、市の方のいろんな説明をお聞きしまして、私、路線商店街を活性化するにはどうしたらいいのかとか、そういう問題意識があつて来たものですから、今の市の到達点と、私が思っているのと、すごく隔たりがあるわけです。その中で、この市民会議でどれだけのことができるのかなという思いがすごくあります。皆さんの議論を聞く中で、3月までに何ができるのかということ葛藤しながら聞いておりました。

だから、さっき西園寺さんがおっしゃったように、この市民会議で何か1つでも実現させるものがあるような、そういう……。何のために時間を割いてここに来たのかという思いが最後に残らないようにしていきたいなという思いがあります。どうしたらいいかというのはちょっとわからないんですけれども。それだけです。

○上月委員 現地視察の関係で、参考書類を回したいと思います。よろしいですか。

○小竹アドバイザー では、コピーをお願いするんですね。

○上月委員 ええ、コピーをお願いして。何か、了解をとらないと回してくれないそうですから。

○小竹アドバイザー では、お配りいただきたいと思います。

視察に関しましては、部会に別れた後に詰めていただくということでよろしゅうございますか。

そうしたら、今、上月委員の方から資料が1つ出ますので、皆さんのお手元に配っていただきたいと思います。では、各グループで視察の件をやるときにこの資料を使っていたいただきたいと思います。上月様、それでよろしいですね。

○上月委員 はい。

○小竹アドバイザー それでは、9時まであと30分なので、4つのグループと呼びましょうか、これが部会ですので、分科会と呼んだらいいか、小グループと呼ぶか、その辺も決めて統一した方がいいと思います。その4つに分けたものの中で、それぞれの責任者というか、進行役の方を決めていきたいと思います。

どのようにして決めていきたいと思いますか。私、自分のメモを見ていると、この方はいかにも環境の方だなとかいうのは何となくあるので、ご自分がどこに積極的にかかわってきたいか、それから、きょうのご発言の中でも、先ほどの長嶋さんのご意見とか、近藤委員のような、この分野については突出して意見をいいたいいけれどもというご発言もありますので、どうやって決めていくのがいいか、まずそれを議論していただきたいと思います。

○河田委員 私、申し上げたので。なんでしたら私、白板に1分野、2分野、3分野、4分野と書きます。今のところ4分野で分けている。だけれども、ここは2つに分けた方がいいといったら5分野になっても構わないと思うんですけども、積極的に自分がよりかわりたいところはどこかということ、皆さんにそこに名前を書いてもらおうと思って。なんでしたら、私、それをやろうかと思っているんです。

そして、その中で、第1分野だったらどなたとどなたとどなたが世話役をやってもらうとか。

○小竹アドバイザー それは分野の中でお決めいただくということですか。

○河田委員 ええ、分野の中で決めてもらえばいいんじゃないかと思っています。

○小竹アドバイザー それから、「分野」という呼び方でよろしゅうございますか。

済みません、これ、正式名称は何でしょう。

○渡辺幹事長 「分野」です。「緑・環境・市民生活分野」です。

○小竹アドバイザー でも、「部会」と書いてあるときもありますよね。

○渡辺幹事長 「分野市民会議」です。

○小竹アドバイザー では、全体が「分野」だそうなので、そのもう1個下のグループですね。「グループ」でいいですか。では、「第4グループ」というような呼び方でいいですか。では、それで。

○河田委員 やりましょうか。

○小竹アドバイザー ちょっとごめんなさい、河田さんにやらせていいのかというのがあるんですけども。（「じゃ、やってください」「やるというんだったらやってもらえばいいじゃない」と呼ぶ者あり）お願いしちゃっていいですか。

○渡辺幹事長 そうしたら、ここに書いていただいて結構です。場合によってはこちらもあけます。大きさなら、黒板の方が大きいです。

〔河田委員、板書〕

○小竹アドバイザー それでは、4グループ。「グループ」という名称を使わせていただきますので、グループの緑、環境、それと今のところの分け方としましては、市民生活1、市民生活2になっております。その4グループで。（発言する者あり）今はまず取りまとめの方を。討議は全体でやるわけですから、自薦で積極的におやりになりたい方がまずお名前を書いていただければ、スムーズに進むのではないかと思います。他薦でも結構でございます。

○新垣委員 一応、せっかく分けるので、20人を4で割れば5になるので、定数は5にするけれども、得意分野、得意分野でないところがあるから、偏っても構わない。どうしてもしゃべりたいという気持ちがあって、私は座長、副座長にさせられそうだと予感される方は、得意分野を外しておいた方が無難じゃないかと、私はつらつら考えます。ですから、まとめる側に入りそうだったと思ったら、自分の得意分野を外してしゃべる側に回るとか、そういう作戦もぜひご考慮いただきたいと思います。

○小竹アドバイザー 積極的に発言に集中したい方は取りまとめに消極的になりたいということですね。それはご自由でよろしいんじゃないでしょうか。私は、何となく、積極的な方が取りまとめかなと単純に思ってしまったんですが、そういう考えもありますね。

○新垣委員 座長はしゃべってはいかぬとはいわないですが、少なくなると思いますよ。

○小竹アドバイザー もしご自分でおやりになりたい方がいらっしゃれば、積極的にお手を挙げていただければと思いますけれども、いかがでしょうか。（「順番にずっと」と呼ぶ者あり）では、順番に聞いていきますか。それとも、それこそ手を挙げた方からいきますか。（「端からずっとやったら」と呼ぶ者あり）そうですね。

それから、そのときに、先ほど新垣委員からあった戦略的なことをお使いになるのであれば、それはご自由でございます。（「だって、座長を選ぶための面もあるでしょう」と呼ぶ者あり）そうですね。取りまとめの方を決めるためのものです。少なくとも3人ぐらいの名前が挙げれば丸くおさまるはずでございます。

どうでしょうか、端からだ全員割り振りという形になりますけれども。いいですか。では、ここに入っていて、仕事を割り振られてもやりますよというところを、順番にお名前をいっていってもらいましょうか。

いつも赤松さんからなので、渡辺さんから。

○渡部委員 緑で。

○河田委員 渡部さんが緑？

○渡部委員 はい。

○河田委員 自分が複数入っても構わないの。

○小竹アドバイザー それは皆さんでお決めください。（「まとめる方も入るでしょう」と呼ぶ者あり）はい、そうですね。ただ、お1人の方が両方の取りまとめというのは、ちょっと仕事が多過ぎますので、それは専念していただいた方がよろしいかと思います。

それでは、皆川委員、お願いいたします。

○皆川委員 市民生活1。

○小竹アドバイザー だと思っておりました。

あと、藤本委員は、連絡をとって見たんですが、ちょっと通じなくて、長期お休みという事になっておりますので。

○新垣委員 ④。

〔「1と2はどう違うんですか」と呼ぶ者あり〕

○小竹アドバイザー 1と2は、勉強会の、覚えていただけるとありがたいんですが、市民生活1の方は、例えばコミュニティとか、それこそ男女共同参画、都市国際交流推進、生涯スポーツ振興とかの分野です。

市民生活2の方は、最後の勉強会でやりましたけれども、商工業の振興、都市観光、あと消費者生活の問題と防犯、それと防災です。

○渡辺幹事長 プレイスは、本来的には市民生活1なんです。前は、専門家会議と日程が重なったので変更したので、枠組みとしては、プレイスの方は1です。

○小竹アドバイザー ちょっと、小さなA4ぐらいの紙で、その項目がどこに入るかをまとめたものをつくった方がいいかなと思っております。ばさばさしないで済むようなものを。それは次のときまでに私が用意してまいります。

○長嶋委員 私は④で。

○富川委員 私、①。

○小竹アドバイザー 谷委員はきょうはお休み。

瀬口委員、ごめんなさい、きょう、いろいろやり方を決めさせていただいて、ちょうどお見えになった1時間半のときから決める議論に入ってしまったんですが、前回、皆川委員から出た、4つのグループに分けて、そのグループの取りまとめ役を決めるということで、きょう最後に決めたいので、ご自分がお入りになりたい、あるいは積極的にかかわりたいところがあれば、おっしゃってください。

○瀬口委員 環境。

○白石委員 全部入るんですか。抜きたいなと思っていたんですが。

○小竹アドバイザー では、ノーコメントで。

○白石委員 入らなきゃいけないんだったらごみ環境で結構です。

農業はどこに入るんでしょう。

○小竹アドバイザー 農業は市民生活2になります。

- 白石委員 じゃ、そちら。
- 小竹アドバイザー 変更ですか。
- 白石委員 そちらへ行きます。ごめんなさい。
- 河田委員 ごみ環境はおやめになるということですね。
- 白石委員 はい。
- 島田委員 私、緑。
- 小竹アドバイザー 塩入さんはきょうお休みですので、西園寺委員。
- 西園寺委員 ②ごみ環境でお願いします。
- 近藤委員 市民生活2の④です。
- 上月委員 ③。
- 栗原委員 僕も③でお願いします。
- 久木野委員 私は②でお願いします。
- 小竹アドバイザー 遠慮されなくてよろしいですよ。どこかに固まっても。
河田委員はご自分でお名前を。

[河田委員、②ごみ環境に記名]

- 今木委員 私は、そういう意味では農業なので、④。安全とか防犯とかは、余り関心はないんですけども。
- 石川委員 私は緑。
- 赤松委員 ①。
- 小竹アドバイザー 私も、この方はここに入るんじゃないかというのを自分で持ってきたんですけども、ちょっとずつずれています。
ノーコメントの方はいらっしゃいませんでしたよね。でも、お休みの方はいらっしゃいますので。
- 河田委員 お休みの方は塩入委員と……。
- 小竹アドバイザー 塩入委員と谷委員と、あと藤本委員は長期お休みになっていらっしゃいます。（「谷さんは商工で」と呼ぶ者あり）そうですね。でも、ご本人の希望を聞かないで決めてよろしいでしょうか。
- 河田委員 わかりました。では、これはあくまでも未定に。
それでは、この中で、お話しして。
- 栗原委員 ③だけ3人なので、緑の方が市民生活2の方からどなたかいらしていただく

と、まことにバランスのよい組み立てになるんですけれども。

○小竹アドバイザー あと、私の認識としては、取りまとめの方は2人ないし3人ということでしたので、最小公約数というか、3人いらっしゃると思いますので。（「みんなで議論するだけだから、議長さえ決めればいい」と呼ぶ者あり）そこを決めなきゃいけないでしょうか。どうしたらよろしいでしょうか。

前回の提案では、取りまとめの方が2人ないし3人で、当日の司会と書記ですね。（発言する者あり）ご発言は挙手でお願いします。今、私がしゃべっておりますので。

では、人数のことですか。

○栗原委員 僕たちは市民生活1のところなんです、さっきちょっと話題にもなった男女共同参画推進は僕らのところなんです。なのに、男性ばかりなんです。ジェンダーバランスが悪い。女性にどなたか1人入っていただくと非常にバランスがよくなっていいんですけれども。

〔「本当は若い藤本さんなんかがいいんじゃない」と呼ぶ者あり〕

○小竹アドバイザー どうも日程がお合いにならないようで、ご参加いただけないんです。それから、日曜日は昼間にお仕事が入っていらっしゃるようで、本当にドンピシャぶつかってしまっていて。本当にどうされますかね。（「もう仕方がないんじゃないですか」と呼ぶ者あり）男女共同参画ですので、男がやろうが女がやろうが関係ないよとかいっていたんですが、そんな認識をしておりますが。

○栗原委員 いや、日本はまだそこまで進んでいないというのが私の、武蔵野もそうですけれども。

〔「コミュニティは③に入りますでしょうか。それがいいんじゃないですか」と呼ぶ者あり〕

○小竹アドバイザー コミュニティは、かなりいろんな分野に入り込んでいる項目なので、この会で何度も何度も話をしなければいけないのではないかと考えているぐらいなんです。

どうしましょう。そのお3人に絞るかどうかというのは全体で決めますか。それとも、そのグループの中で決めますか。（「だって、もうほかへ行きたいという方はいないと思いますよ」と呼ぶ者あり）いらっしゃるらないので、ではこの中で取りまとめの方を、少なくともお1人はお決めいただけるとありがたいんですけれども。では、緑の方から。分野で決めていただきましょうか。

○河田委員 それぞれの分野の中で額を集めて、渡部さん、富川さん、島田さん、石川さ

ん、どなたかというのを。

〔「石川さん、意見をいいたいんじゃない」「石川さん、お願いします」と呼ぶ者あり〕

○小竹アドバイザー でも、両方おできになるかもしれませんし。どうされますか。

○河田委員 何も1人とか2人に限るわけじゃないので。（「3人ぐらいにしておけばいい」と呼ぶ者あり）3人ぐらい。

○小竹アドバイザー 書記をされる方がどうしても必要なので、こんな感じだと思います。

異議なしということでよろしゅうございますね。決定でございます。

○河田委員 とりあえずね。これはもう、この中で相談してください。

○小竹アドバイザー それから、ご都合によって当日ご出席されないこともありますよね。そのときは臨機応変に変えていかなければいけません。

それでは2番目の分野の環境はいかがいたしましょうか。

〔「河田さんと西園寺さんでどうですか」と呼ぶ者あり〕

○河田委員 西園寺さん、いいですか。

○小竹アドバイザー では、河田委員と西園寺委員でよろしくお願いします。

それから、市民生活1、これはお3人なので、この中での割り振りを……。 （「みんなだね」と呼ぶ者あり）あるいは、書記の仕事も結構体力が要るような気がします。年は関係なくて。

○栗原委員 書記だけはしたくないですよ。物をいいたいから。うそうそ、冗談です。

○小竹アドバイザー では、市民生活2の方はいかがいたしましょう。（「新垣さん」と呼ぶ者あり）新垣委員でよろしいですか。あと……。 （「今木さんはもう、一番お得意だから」と呼ぶ者あり）あともう1方。今木委員のお名前が出ていますが、よろしいでしょうか、あとほかに。ここは人数が多うございますので。（「いいんじゃない、2人で」「2人で、あとはピンチヒッターで」「長嶋さん」と呼ぶ者あり）そうですね。いつもご参加いただけるかどうかは、今日程は決まっておりますけれども。

では、こういう形で決定でよろしいでしょうか。もし何かご意見があれば。それと、あと、きょうご参加されていない方はまた後でご意見を伺いますけれども、討議自体は、議論自体は全体会でやるわけですので、今丸のついている方が、どちらが何をするかというのはご本人同士でお決めいただきたいと思いますが、議長的なお仕事をされる方と、メモをとって他分野にペーパーを持っていったりするための要旨をまとめるという仕事がございます。

いますので、よろしくお願いします。

皆さん、メモをおとりになられますね。少し時間をとった方がよろしいですか。事務局の方で資料はつくっていただけるということですので。

- ①緑 ○渡部・富川・島田・○石川・赤松
- ②ごみ環境 瀬口・○西園寺・久木野・○河田
- ③市民生活 1 ○皆川・○上月・○栗原
- ④市民生活 2 ○新垣・○長嶋・白石・近藤・○今木

○小竹アドバイザー それでは、まだあと少し時間がありますので、担当は決まりましたけれども、実際の議論をどうやって進めていくかということと、もう既に視察先などは具体的に出ておりますので、それぞれのグループでどういうふうにやっていくかというのを決めていただければと思います。

例えば、次回からどういうふうに進めていきたいと思いますか。この順番でやっていくのか、あるいは私はコミュニティにすごくかかわりが多いので、そこからやっていった方がいいのかなという気もしているんですけども。（「プレイス」と呼ぶ者あり）そうですね。プレイスの問題、最初に議論がありましたように、取りまとめの意見書のようなものを出していくことになっておりますので。

そうしましたら、皆川委員と栗原委員と上月委員の③のところをまず集中的にということ。（「それは、次回？」と呼ぶ者あり）次回です。早過ぎますか。（「結構です」と呼ぶ者あり）

○栗原委員 全員が最初のうちは慣れないので、具体的に次回までに何を用意するのかということを確認していただいて、その上でやりましょう。

あと、プレイスの方ですけども、実際には 13 日に専門家会議があつて、そこでプレイスに関する専門家会議の中間のまとめが固まる予定です。その次の 18 日に市議会で鉄道・農水の特別委員会があつて、そこで中間のまとめに関して市議の方たちとの間で議論があると伺っています。その後ぐらいにパブリックコメントというんですか、市民からも中間のまとめに関して広く意見を集めるという流れになっています。

ですから、次回に集中的に話し合いをして、そこで話された内容をまとめれば、中間のまとめに対する応答みたいな形になりますが、中間のまとめを事前に読むことは、それま

ではできません。そういう条件の中ですけれども、よろしいですか。

○小竹アドバイザー 皆さん、いかがでしょうか。

○皆川委員 正直いいまして、プレイスはもう結論が出たんじゃないですか。（「そんなことはないです」と呼ぶ者あり）いや、提案するというので。ですから、それが専門家会議を経て、あるいは議会を経てということより、こちらとしては、もうかなり財政上の問題もあるんだから、こうしていこうという形で、前回あれだけ時間をとりながらやっておるわけですから。

それで、きょう、この市民会議の意見を今度の専門家会議に反映してもらおうということ、を渡辺幹事長の方に伝えてあるわけですから、そうしていこうということですので。それをまた蒸し返すということをやったら、この会議は、私はもうまとまらないんじゃないかと感じます。

したがって、今アドバイザーがいわれたように、確かにコミュニティがいろいろと関係があるということであれば、それはトップバッターをさせてもらってよろしいのではないのでしょうか。そう思います。

○小竹アドバイザー ご意見が出ましたけれども、いかがでしょうか。

○久木野委員 時間的な制約があるので、確かにコミュニティの方に多くの時間を割いた方がいいかなという思いはありますけれども、最終的に専門家会議がまとめるのは2月に入ってからですので、十分間に合うと思います。予算もこれからです。私たちの意見は十分反映させていただけるとは思いますけれども。

○小竹アドバイザー そうしますと、プレイスの問題を、次回、時間をとってやるか、あるいは皆川委員のご意見ですと、要約のようなものが書けるので、それを出すので十分ではないかということですね。

○皆川委員 私はそのように思っています。

○小竹アドバイザー いかがでしょうか。委員会として全体で決めていただきたいと思えます。

○皆川委員 専門家会議があるんですから、そちらに任せないといかぬでしょう。ここはそれをやる場じゃないんですから。ただ、やっぱりせつかく市民の集まりですから、意見があれば。

前回、あれだけ論議しているわけですし、きょうはその方向でまとめようというところまでいっているわけですから、蒸し返しはよろしいんじゃないですか。

○新垣委員 前回、若干の議論がありました。どこまで審議したかというのは、お互いに明確に確認がとれていないということで、皆川委員の意見も斟酌してやるとすれば、今回、ご面倒でも3人の方にご協議いただいて、ペーパーでこんなところで意見を集約して、皆さんどうですかということをお諮りして、それで問題がなければ出していただく。さらにつけ加えるところがあるんだったら、若干議論をしていただいて、その上にプラスアルファを足すということで、時間的には少し早目に回すということで、着地点は妥協できないかと思います。

○小竹アドバイザー 今のご意見は、ご担当の方に、4回の議事録はまだ決定事項ではありませんけれども、ありますので、その中で意見書のようなたたき台をつくってきていただくということですか。それを次回の……。

○栗原委員 ただ、プレイスの話は5回なんですよ。4回の話ではないんですよ。

○小竹アドバイザー ああ、そうですね。5回だから、資料そのものはないですね。

○栗原委員 だから、記憶に基づいてやらなきゃならないというのは、ちょっと苦しいですね。

○小竹アドバイザー 次回の次回で5回の議事録が出たぐらいだと、もう遅いんですか。なるべく早くやった方がよろしいですか。

○栗原委員 年が明けて、ここは初回が9日ですから、9日の段階で話し合っ、ここの意見をまとめて、市民会議としてはこういう意見なんだということ、中間の意見も含めた専門家会議に対する私たちの意見ということで出すことはできると思います。

○小竹アドバイザー タイムスケジュール的には大丈夫ですね。

○栗原委員 大丈夫だと思います。

○小竹アドバイザー では、ちょっとあいまいという言い方は変ですけども、記憶の中でのたたき台をつくるのはちょっと苦しいですよ。

○栗原委員 それはちょっと無理です。

○小竹アドバイザー なので、どのくらいでできますかね。

○渡辺幹事長 前回ですよ。まだ手元に全然届いていないんですよ。ですから、ちょっとお約束というのは、おおむね、こちらに届くのが会議から2週間後。そこから出てくるから……。

○小竹アドバイザー 少なくとも、栗原委員と決まるわけじゃありませんが、手元に1月9日の前の段階で、正式な決定のものではないけれども議事録があると、今の計画はでき

るんですけれども。

○五十嵐交流事業担当部長 それは大丈夫でしょう。

○渡辺幹事長 そうですね。恐らく、お手元にご郵送という形になるかなと思います。

○栗原委員 5回目の記録を年内に市民生活1の担当者には届けていただいて、プレイスのことについて、9日に全部じゃなくていいと思うんです。1時間でも時間をとっていただいて、話し合っ整理したことをお出ししますので、それで議論していただいて、このまとめという形にさせていただく。

皆川委員がいわれるように、コミュニティのことが大事だということであれば、今回は市民生活1の中のコミュニティの問題が長期計画の中にどのぐらい及ぶのかとか、どういう点を気にかけながらといいますか、まとめていかなきゃならないのかということについて集中的に話し合うということでもいいかと思います。

ただ、その場合も、コミュニティについて、これから論点整理をしていくということでしょうか。

○小竹アドバイザー 河田委員からお出しいただいたペーパーの2ですが、各委員は自分の意見を整理して、前回の皆川委員のご提案にも、意見をまとめてきて手短かに意見を述べるということがありました。それは、ここに来てどっとう出るのか、あるいは取りまとめの方にあらかじめ出しておいた方が能率がいいのか、その辺はどうしたものかなと思います。

○河田委員 私のイメージは、後の方でおっしゃった、取りまとめの委員にできるだけ早く。

○小竹アドバイザー お渡ししておけば、取りまとめの委員が、きょうはいろんな意見が10個ぐらい出ております、ですから15分刻みでやりましょうとかという計画は立てやすいかなと思います。ただ、その手法として、メールをお持ちの方は添付で送るとかできますが、どういう方法にされますか。そこは決めておかれた方がよろしいですね。ファクスでも。

○新垣委員 先行する③のものにつきましては、できるだけ早く担当のところまでお届けいただく。それ以外のものは年明けになりますから、年内じゅうにそれぞれご意見をお書きいただいて、近藤さんみたいなああいう形でペーパーで出していただけると、どこにどういう問題があるか一目でわかりますから。他の方も、得意とされる分野のところのご意見をぜひまとめて、年内じゅうに一遍お出しいただく。そして、それぞれの丸く打たれたところに集約して整理したものをその都度事前にお渡しして、議論の進捗を図るという形

で、とりあえず③だけ先行して。

○小竹アドバイザー そうですね。まず③を先にやるというのはよろしゅうございますか。コミュニティを中心にいろんなところに関係してくるであろうところを、まずもんでおくということ。

それで、次回は12月12日ですが、これに関しましてはどなたにすればよろしいでしょうか、このお3人の中で。一番理想的なのは……。

○皆川委員 終わってから3人で打ち合わせしますから、もういいです、それは。

○小竹アドバイザー そうですか。それではアナウンスしてください。アナウンスがあるまで、皆さんお帰りにならないでくださいね。

○皆川委員 いや、もう次回12日にやるということに決めたでしょう。（「意見を上げる人です」と呼ぶ者あり）だから、それは我々3人の中でやりますから。

○新垣委員 知っているのは、3人以外の方のご意見をいつまでにどなたにお渡しすればいいですかということです。

○栗原委員 通信手段というのは人それぞれで、難しいので、事務局にまとめていただくとありがたいんですけども。

○小竹アドバイザー それは可能でしょうか。

○渡辺幹事長 ちょっとどういう形になるかお約束は、もうちょっとはつきり示していただいた方がいいかなと思います。

○栗原委員 例えば各委員から……。

○渡辺幹事長 やっぱり紙ベースか何かでいただかないと……。

○栗原委員 ファクスで事務局ということでよろしいですか、それでしたら。

○小竹アドバイザー それを羅列していただいて。でもそうすると……。

○栗原委員 それを整理していただくのではなくて……。

○渡辺幹事長 整理はしないですが、そうすると、通信手段として、我々事務局も皆さん方にお送りすると、恐らく郵送ですよ。ファクスがあればファクス。（「まとめ役の人に送ればいいでしょう」と呼ぶ者あり）まとめ役に送ればよろしいですか。その辺がわからない。

○栗原委員 後で、どうでしょうか、電話番号とファクス番号とメールアドレスの一覧表をつくって皆さんに全部交換し合ったらいいんじゃないですか。

○小竹アドバイザー きょうは何か一覧を書きますか。

○栗原委員 書いて置いていけばいい。

○小竹アドバイザー あるいは、お3人の中でどこか意見集約していただける方がいれば、その方のファクス番号か何かをきょう持ち帰れば、12月12日の準備はできますけれども。

○西園寺委員 差し出たことを申しわけないんですけれども、20人のうち15人の方は、私はもう既に通信手段を持っておりますので、私でよければ、すべて私のところに持ってきてもらえれば、あと河田さん、石川さん、栗原さん、上月さん、新垣さん、全部私はほぼ出せる状態にありますので、やってもいいですよ。

○小竹アドバイザー とてもありがたいお申し出がありましたけれども、いかがでしょうか。よろしいですか。

○西園寺委員 ええ。

○小竹アドバイザー では、ちょっとお手数をおかけしますけれども。

○西園寺委員 残り5人の方の連絡先だけ教えていただければ。

○小竹アドバイザー そうですね。一番理想的なのは、こういう会議を進めるのは、あらかじめどういう議題が出ているかということを一カ所に集約して、来るまでに、みんなが、こういう項目が挙がっているのかというのがわかっているのが一番いいんですけれども、それは無理にしても、取りまとめのところでまとまった段階で皆さんが集まるというのが12日にはできそうですね。

○栗原委員 1週間ないんですよ。

○小竹アドバイザー そうですね。今回、ちょっと早いんです。

○栗原委員 だから、非常に厳しいと思います。ですから、今回はそういう進め方でいいとは思いますが、非常に粗い議論になると含んでおいていただいて、でもコミュニティのことは多くの分野にまたがるからまずやっておきましょう、そういうぐらいの位置づけでやっていただけるんだったらありがたいと思います。（「コミュニティは、再度また」と呼ぶ者あり）やりますよね、また。

○小竹アドバイザー そうですね。これで終わりということは絶対にはないと思いますので、それでよろしゅうございますでしょうか。

それでは、申しわけありませんが、5名の方、西園寺さんにまだ連絡先をおっしゃっていらっしゃらない方は、きょう西園寺さんにご連絡いただいて。

それで、少なくとも何日までにとおっしゃられますか。締め切りを設けられますか。栗原委員と皆川委員と上月委員。

○栗原委員 やっぱり、何をつくるにしても、週末を使わないと無理だと思います。月曜日に届いたのでは、ちょっともう勘弁してくださいという感じでしょうね。

○小竹アドバイザー では、8日じゅう、9日じゅうぐらいということ……。

○西園寺委員 金曜夜。

○小竹アドバイザー そうですね、みんなで力を合わせてということ。

○栗原委員 金曜夜まで。

○小竹アドバイザー ということだそうです。

〔「土曜午前中」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員 どうして？ 値下げ交渉じゃないんだから。（「意見を書く方も、週末じゃないと書けないです」と呼ぶ者あり）週末じゃないと書けない？ これは利害が一致しませんね。

○小竹アドバイザー 意見を書く方は土曜日の週末をお使いになって、申しわけないけれども、日曜日の週末を使っただいて……。

○栗原委員 日曜日に届くんですか。

○小竹アドバイザー いいえ、土曜日の夜ぐらいまでにおできになりますか。

〔「それが、夜までに全部西園寺さんのところにいくんですね」と呼ぶ者あり〕

○西園寺委員 一応私のところにやってくれば、私はそれをそろえて栗原さんの家にぼんと持って行く。

○小竹アドバイザー 西園寺さん、週末、お出かけの予定はないですか。

○西園寺委員 今週はありません。（「何でもいいの？ コミュニティに関して書くんですか」と呼ぶ者あり）コミュニティ、第3分野の。（「そこに関するものだったら何でもいいんですか」と呼ぶ者あり）

○小竹アドバイザー コミュニティに関しては内容項目が多いですので、先ほど決めましたコードを使いまして、明確にお願いしたいと思います。（発言する者あり）よろしいですか。ご質問ありましたらお手をお挙げください。

では、それでよろしいですね。それでは、9日の夜までに西園寺さんの方にご意見をお寄せくださいということをお願いいたします。

そうしますと、次回は12月12日にコミュニティのことを、粗い感じになるかもしれませんが、実際の議論を進めていくということになります。その後の問題ですけれど

も、年が明けまして、1月9日は、先ほどお話がありましたプレイスの問題に少し時間を割くということで、取りまとめ次第提出になります。ですから、9日はプレイス以外のことで時間をとることができますが。

○栗原委員 意見なので、それでいいでしょうかという確認を一々とっていただいた方がいいのではないかと思います。皆川委員は、プレイスのことはそこまでこだわらなくても専門家会議に任せてもいいのではないかとのご意見でした。これは意見が違うということです。意見が違うことに関しては、河田委員の提案であれば、ディスカッションするけれども最終的には多数決でというお話がありましたので、変な言い方ですけども、何となくこちらというふうに決めていかない方がいいのではないかと思います。

○小竹アドバイザー わかりました。

そうしましたら、今お話が出ましたプレイスの件につきましては、日程的に1月9日に話すのでも間に合いますが、このこと自体で、皆川委員からは、意見はほぼまとまっているということで余り時間をかける必要はないというご意見もありますし、いやもうちょっともんだ方がいいというご意見もあります。そのことについてご意見をお願いします。

○石川委員 9日の議題は、プレイス以外は市民生活の1ですか。（「それはまだ決まっていない」と呼ぶ者あり）それも決めておかなきゃならないでしょう。

○河田委員 同じ議長さんのもとで、1日はそれで費やした方がいいんじゃない。

○石川委員 それで、その資料もいつまでというか、つけ足すんだったらいつまでに出すとか、あるんでしょう。

○小竹アドバイザー そうですね。ちょっとスケジュール立てをしておいた方がいいかと思えます。

○久木野委員 あと、1回につき1分野で、あと4回ということですか。

○小竹アドバイザー それもお決めいただければと思います。

それから、今のところ、私どもの委員会は12月12日、1月9日、20日、30日までしか日程は決まっておきませんので、ちょうど4回はあるんですけども……。

○久木野委員 プレイスが、ごみ環境とか緑にもし入ってくることになったときに、私は緑とごみ環境が一番時間をとるんじゃないかという感じがするんです。だから、コミュニティの③で1回とるというのは、ある意味時間的にちょっと、ほかを押されちゃうんじゃないですか。

○河田委員 だから、回数は10回ではおさまらないので、2月、3月でもっと集中的に

やらなきゃだめでしょう。

○小竹アドバイザー そうしましたら、プレイスの件はどうしましょうか。

○久木野委員 9日でいいですよ。

○小竹アドバイザー 9日にやって……。

○久木野委員 やると決まったらね。

○小竹アドバイザー そのことについて、ご意見はありますでしょうか。日程的にそれで可能だということまで、今明らかになっております。

○渡辺幹事長 一応、開催通知が下に置いてありまして、これに第10回までの日程が書いてあります。

○河田委員 20日は緑から。あとは順を追ってやったらどうですか。

○小竹アドバイザー 9日にプレイスが入りますと、これは市民生活1に関連するということなので、12月12日のコミュニティ関係を含む市民生活1が1.3回分ぐらいとるということになりましたが。

1月9日は、プレイスの件をどのぐらい議論するか。こういうのはふたをあけてみなきゃわからない気もするんですけども。一応、皆川委員の方からは、それほど時間を割く必要はないというご意見がありますので、それについてご意見なりご質問なりあれば。

○河田委員 前回、プレイスの専門家会議の中身、ちょっと今は手元に資料がないのがなんです。

どうも、この長期計画なりあるいはこの市民会議でプレイスというのをどういうふうに扱うかということ、この会議で議論したいなということと、専門家会議が諮問されて、今4項目の検討を進めているとお伺いしましたけれども、どうも内容はかなり重なっていないんです。市民会議でやろうとしているブロードな話と比べると、私は、専門家会議というのは本当にごくごく局地的な問題を詰めているような感じがするんです。もっと骨太に、このプレイスを一体どうするんだとか、どうあるべきだという議論は、私は、専門家会議じゃなくて市民会議の方でまともに取り上げないといけない問題ではないかという気がしております。だから、皆川さんのご指摘なんですけれども、全然次元が違う話をやるわけですから、市民会議でもきちんと取り上げてよろしいのではないかということをお願いしたいと思います。

○新垣委員 第5回のときに発言させていただいておるんですが、①と②については専門家会議でかなり詳しくやっておりますが、③と④についてはさほど議論が進んでいないよ

うに見えています。

例えば、プレイスをつくることによって市民会館の機能はなしにしたらどうかとか、スイングは別個で扱えばいいのではないかとかいう議論もありますが、むしろプレイスと市民会館とスイングとその周辺のコミュニティセンターとどのように連携をとってネットワークを組んでいくかということが、③の市民生活の中で議論されなければいけない。そういう意味でいうと、唯一市民会館は社会教育のセンターとして位置づけて、これからも展望を持っていきたいなという感じがしたときに、例えば瀬口さんがいわれたのに対して市の方から、あれをコミュニティセンターにしちゃったらいけないかという乱暴なご意見もあったんですが、むしろそういう社会教育の拠点にきちっと整理して、位置づけて、その部分については市民会館でやる。プレイスではそこは担わないとか、そういうふうに周辺の既存のものとうやうやってネットを組んでプレイスを見ていくかということもやっていただかないと困るという感じが、4つ目の諮問の問題です。

3つ目の問題は地下駐車場の問題ですが、高い金をかけて34台の地下駐車場をつくることについていろいろ意見はありますが、それよりも、その前に、あそこは約1000台近い自転車がとめてあるわけです。あの工事に入ったら、その自転車はどこへ行くのか。

きょうのテレビでもありましたように、三鷹が第1位、吉祥寺が第3位、境が第7位と、東京の中の自転車の一番品のない箇所が統計に出ております。そのベストテンの中の境の問題をどうするのかという問題については議論がなされていない。高架になったらその下を駐輪場にすればいいかという話も出ておりますが、それもまだ意見の段階で、具体的にいつクロスして整理されるか、そういう市民社会、市民生活の重大な問題にかかわってくる問題もあります。

そういう意味でいきますと、③の問題は、プレイスというよりも、コミュニティセンターと、既存のセンターをお互いにどういうふうにネットにつないで、よりよいネットワークをつくり上げていくのか、市民生活に対して貢献させていくのかということを経験していかかという意味では、単にプレイスという建物だけではない。そういう意味では、もうちょっと具体的に慎重に議論をしていただきたいと思います。

ですから、プレイスそれ自身については30分ぐらいで議論ができるかと思いますが、その周辺の問題を含めて議論していくとすれば、かなり時間はとられると思っております。

○小竹アドバイザー そうしますと、1月9日というのは、5回の議事録が出るのであれば、それをたたき台にして何かつくってもらったとしたら、1月9日の方がいいというこ

とでタイムスケジュールを組みましたけれども、12月12日の段階で、今新垣さんがおっしゃられたようなコミュニティのあり方の中にプレイスを入れて、そこで意見書をそのまま、ちょっと重複した意見が出る可能性はありますけれども、それでやるということだと、市民生活1が1回の中におさまるかなという形になりますが、いかがですか。

○栗原委員　そういうことでも構わないんですが、そうであれば、前回の話し合いの整理はできないということになりますので、前回の話し合いの整理を踏まえてという話ではなくて、大枠のコミュニティの問題、そしてプレイスはさまざまななかかわりの中でつくられようとしている施設ですから、そういう問題と押さえた上で、コミュニティ、そしてプレイスのことについて集中的に改めて話し合うということであれば、よろしいかなと思います。

ついでに、私たちは緑・環境・市民生活という分野ですから、そういう視点からプレイスを見たらどうなんだということを考えたいと思います。

○小竹アドバイザー　そうしましたら、12月12日の段階でプレイスに対する意見書はまとめられますね。

○栗原委員　そのときのディスカッション次第です。

○小竹アドバイザー　そうですね。そういうことを目標にしてディスカッションをしていて、まとめ上げていってもらえれば、より早く先方に意見書が出せることになりますので。

では、プレイスも含めて12日に議論、それはコミュニティのあり方の中でということなので。そうしましたら、12月9日の夜までに西園寺さんに送る内容の中には、プレイスの関係、コミュニティのあり方の中でプレイスをどう位置づけるかということも議題に入っておりますので、よろしくをお願いします。

皆川さん、それでよろしゅうございますでしょうか。

○皆川委員　結構ですよ。

○小竹アドバイザー　それでは、12月12日がこの③に当たります市民生活1の1回目というんですか、ディスカッションになります。その後の1月9日、20日、30日をどう割り振るか。議論がどのくらい煮詰まって、1回で終わるのかとかいうこともありますけれども、とりあえず、今4回日取りが決まっておりますので、それぞれに項目を当てはめていって、やるというのでよろしいでしょうか。そのことでご意見がありましたら。もしよろしければ、その順番を決めていただきたいと思います。先ほど久木野委員からは、例えば緑とかごみ環境のところはかなり時間をとる可能性もあるというお話がありました。

○皆川委員 むしろ、どうですか。③、④は関係があるから。

○小竹アドバイザー 先に市民生活をまとめてやりますか。

○皆川委員 それから①、②なり、②、①なり。

○小竹アドバイザー 今、ご意見がありましたけれども、皆川委員から出ましたのが、1月9日に市民生活2をやりまして、1月20日に緑か環境かということで。いかがでしょうか。よろしいですか。

そうしましたら、より迅速に議論を進めるには、なるべく早く担当の方に意見をお出しいただくと、事前にきょう話し合う項目立てがわかるといういいサイクルに入ります。例えば、年の瀬は忙しいですけれども、年内に、西園寺さんにご迷惑でなければ④、①、②ですか、そちらの意見書もまとめてお出しいただければ、事前に予習ができるということと変ですけれども。

私、ちょっと個人的な質問なんですけれども、例えばファクス用紙とか、かかりますよね。そういうのはどういうふうにされたらいいかなというのがあるんです。

○西園寺委員 半分ぐらいはメールなので、特に問題ないですけれども、それでもプリントアウトしなきゃいけないときもあるのはあります。でも、きっと多分事務局長さんが後で考えてくださるんじゃないか。

○渡辺幹事長 現物支給というのは、なくはないと思いますよ。

○小竹アドバイザー それは私たちの委員会の中で考えて……。

○新垣委員 A4のまとめたものを渡辺さんのところへメールでぽっと送って、渡辺さんがそれを現物支給で印刷して配っていただくということは、それは十分可能ですよ。

○西園寺委員 いや、ここにまとめたものを、時間的なゆとりがあるのであれば市役所に届けておいて、これを22部コピーしてくださいということは可能ですよね、時間の余裕があるときは。

○小竹アドバイザー 市内なので1日あれば郵送できます。

では、なるべく迅速に議論を進める上ではそれが望ましいかと思しますので、西園寺さんには年末、大変忙しくさせますけれども、皆さんのご意見のまとめを年末までにお出しただければ……。 (「①、②、③、④、全部出すんですか」と呼ぶ者あり) そうですね。なるべく早いうちにたまっていた方が予習ができますので、それを目標にお願いしたいと思います。(「出せる人は出す」と呼ぶ者あり) そうですね。ノルマ的な厳しいものではございませんので。

では、それでよろしいでしょうか。

○上月委員 確かに日程がないから③でいいですけども、③は、きょうから6日間しかないですね。その間に皆さんの意見をまとめて、その日に全部会議に出すためには、ある程度まとまった意見が出てこなければ、議論できないと思うんです。ただこうですよと皆さんに渡して議論できるかどうか。できても、意見に対してまとめる暇は全然ないわけですね。

○小竹アドバイザー 最初の方は羅列そのまま結構だと思います。

○上月委員 羅列って、個人の1枚1枚が全部配られるわけですから、はっきりいえば20枚配られるわけですね。それを皆さんが読むだけでも1時間以上かかりますよ。それでもいいのかということです。それで1日で間に合うかどうか。

○久木野委員 20枚になるとは限らないでしょう。

○小竹アドバイザー そうです。20枚だったけれども、グループとしては3つの意見だったとか、話し合いの項目は6つだったとかということは、取りまとめていただけるとありがたいんですけども。

○上月委員 そういう時間はないと思いますよ。

○久木野委員 それとか、1行しか意見のない人もいるし。

○栗原委員 今回は仕方ないと思いますよ。

○上月委員 ですから、1日で間に合うのかなということです。

○近藤委員 余り細かいことを書くと長くなるから、やはり簡潔に焦点だけを、いわゆる題名だけとかという形で、皆さんとのディスカッションをする、それが大切だと思いますので、余り細かいことを書いてしまうことはよくないんじゃないかと思います。

○小竹アドバイザー 項目立てですね。

○近藤委員 箇条書き。「1、何」「2、何」ぐらいで、余りたくさん出さない。自分がどうしても出したいことだけにする。ということになると、20人いてもこの中に1枚で書けるということを限定にしたらどうでしょう。

○小竹アドバイザー よろしいでしょうか。では、それでお願いしたいと思います。

済みません、では、皆さん今週末は忙しくなりますけれども、頑張りましょう。

ごめんなさい、私、きょう傍聴の方のことを一切……。

○渡辺幹事長 おりません。結構です。

○小竹アドバイザー それでは、きょうは傍聴の方はいらっしゃいませんので、ご意見を

伺う時間は必要ありません。（発言する者あり）皆様、ご静粛にお願いいたします。

（「1行でできるんじゃないですか」と呼ぶ者あり）ええ、1行で書いてください。

それでは、確認をさせていただきますが、西園寺委員のところに今週末の9日の土曜日の夜までにお出しいただいて、西園寺さんからなるべく早く栗原さんのところ。栗原さんのところでよろしいですか。

○栗原委員 わかりません。あと、相談しないと。

○小竹アドバイザー それは、西園寺さんにご報告ください。

そういうことで、次回12月12日に市民生活1、コミュニティ、プレイスのことも含めて話し合うということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

3. 閉 会

○小竹アドバイザー それでは、本日の緑・環境・市民生活についての会議は終わりにしたいと思ひます。ご苦勞さまでした。

午後9時29分 閉会